

PARKING

No.255

2026. 7



一般社団法人全日本駐車協会第65回通常総会報告
総会講演会レポート
情報発信「アンテナ」(第28回)

『ヨーロッパ駐車場アワードから読み解く、

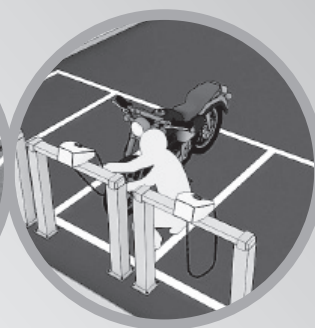
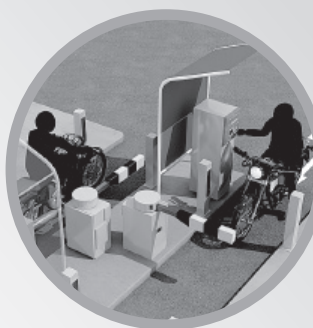
駐車場を取り巻くトレンド Vol.1』

先進技術がつくる、 安心・安全のパーキングシステム

ロック板
システム



車番認識
システム



駐輪・駐バイク
システム



車路管制
システム

＊駐車場の運営管理についても私たちにご相談ください。

 創造と信頼で未来をひらく
三菱フレンジョン株式会社

本社・営業本部

〒108-0075 東京都港区港南1-6-41
芝浦クリスタル品川8階

<https://www.mpcnet.co.jp>

お問合せ先

駐車場システム営業部 ☎03-6712-1732

中部支社 052-961-3557

関西支社 06-6484-7206

北海道営業所 011-213-7826

東北営業所 022-216-4615

静岡営業所 054-204-4505

中四国営業所 082-546-2176

九州営業所 092-273-0880

伸びゆく丸の内と、
いつもいっしょに。
丸の内パークイン

「丸の内パークイン」として
20カ所・約4,700台の
広域駐車場を運営

since
1960

1960年 日本初の地下駐車場開業



<https://www.marunouchi.com/information/parking/>
Tel.03-3212-0808

飲酒運転は法律で
禁じられています。

Drunken Driving Prohibited by Law.



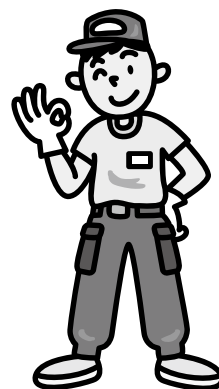
機械式

駐車場・駐輪場の メンテナンス

・ 定期点検 ・ 緊急出動 ・ 故障修理

- 日本全国OK !!
- 24時間365日OK !!
- 大小問わずOK !!
- 合理的な料金でOK !!

遠隔監視システム
での無人管理OK



一般社団法人東京駐車協会賛助会員

【お問い合わせ】 日本駐車場救急サービス株式会社

パーキングシステムのご提案から 設計・施工・保守・コール対応までトータルサポート



FDC 株式会社富士ダイナミクス

● 本社 / 中目黒サービスセンター

〒153-0042 東京都目黒区青葉台1-28-9
TEL(代表):03-3793-5411
TEL(中目黒サービスセンター):03-3793-5416

● 営業本部 (パーキング営業統括部 / パーキングシステムソリューション部)

〒153-0043 東京都目黒区東山1-4-4 目黒東山ビル4F
TEL:03-3793-7411

● 西日本営業所 (パーキングシステム営業 / ドライビングシミュレータ)

〒533-0033 大阪府大阪市東淀川区東中島2-9-15
TEL:06-6325-2761

● 西日本営業所 福岡営業部 (パーキングシステム営業)

〒812-0035 福岡県福岡市博多区中呉服町3-10 勝冶呉服町ビル
TEL:092-282-3491

● 仙台営業所 (パーキングシステム営業 / 機械式駐車場設備)

〒982-0032 宮城県仙台市太白区富沢1-11-21
TEL:022-244-5461

● 名古屋営業所 (パーキングシステム営業)

〒467-0868 愛知県名古屋市長瀬区大新町1-2-6 ロイヤル牛巻第12階
TEL:052-883-0700

● 湘南事業所 (ドライビングシミュレータ) / 保守技術部 湘南サービスセンター

〒247-0066 神奈川県鎌倉市山崎662-2
TEL(代表):0467-45-6867
TEL(湘南サービスセンター):0467-47-8901

● 横浜サービスセンター

〒220-8129 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1
横浜ランドマークタワー 29階
TEL:045-224-2256

● 丸の内サービスセンター

〒100-6806 東京都千代田区大手町1-3-1「JAビル」6階
608区
TEL:03-3287-0594

● 羽田サービスセンター

〒144-0041 東京都大田区羽田空港3-3-2 東京国際空港
第1旅客ターミナルビル 三菱プレジジョン株式会社 内
TEL:03-5756-7245

● 東京ベイサービスオフィス

〒279-0012 千葉県浦安市入船一丁目5番2号 プライムタワー新浦安
515号室
TEL:047-313-9800

● 相模原サービスセンター

〒252-0232 神奈川県相模原市中央区矢部1-3-14 大河原ビル
201号室
TEL:042-730-6611

● さいたま出張所

〒330-0062 埼玉県さいたま市浦和区仲町1-9-1
浦和パーキングセンター内4F

<https://www.fuji-dynamics.co.jp/>

人とクルマのためのエコ・パーキングシステム

日本信号の 駐車場・駐輪場

「オーナーサポート」「利用者満足度」「環境負荷低減」
安全と信頼のテクノロジーで人・都市・環境を考慮し、
これからのパーキングシステムを考える日本信号。



日本信号エコ・パーキングシステム

- QRコード駐車券
- 省電力表示機器：ハーフLCD
- LED蛍光灯採用表示板
- 太陽光発電駐車場・駐輪場



ゲート式駐車場管理システム



ゲート式駐車場管理システム



パークロック駐車場管理システム



サイクルロック駐輪場管理システム



バイクロック駐車場管理システム



ゲート式自転車・バイク駐車場管理システム



日本信号株式会社

<http://www.signal.co.jp/>

■AFC事業部 AFC営業部

〒100-6513 東京都千代田区丸の内1-5-1(新丸の内ビルディング 13階)
PHONE:(03)3217-7373 FAX:(03)3217-7377

■大阪支社 交通システム営業部

〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4(大阪富国生命ビル 8階)
PHONE:(06)6312-3856 FAX:(06)6312-8597

■本社 〒100-6513 東京都千代田区丸の内1-5-1(新丸の内ビルディング13階)

PHONE:(03)3217-7200 (代) FAX:(03)3217-7300

■大阪支社 〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4(大阪富国生命ビル)

PHONE:(06)6312-3851 (代) FAX:(06)6312-8597

■北海道支店 〒060-0032 札幌市中央区北二条西3-1(太陽生命ビル)

PHONE:(011)271-4161 (代) FAX:(011)221-1705

■東北支店 〒980-0021 仙台市青葉区中央2-8-13大和証券仙台ビル11F

PHONE:(022)251-6371 (代) FAX:(022)225-4827

■中部支店 〒430-6040 名古屋市中村区名駅1-14(JRセントラルタワーズ)

PHONE:(052)256-2851 (代) FAX:(052)256-2879

■九州支店 〒810-0041 福岡市中央区大倉2-4-30(山崎ビル)

PHONE:(092)777-9175 (代) FAX:(092)714-8127

「全日駐規格・汎用（共通）サービス券」システム

～コンパクトシティ施策の推進・地域活性化に向けて～

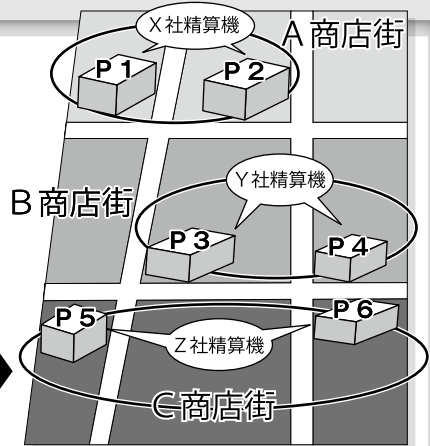
現状の問題点

- 精算機メーカー毎に各社個別の磁気式サービス券を使う必要がある。
- メーカー共通の磁気式サービス券がないため、クーポン券式サービス券を有人対応で使用すると、24H営業・無人化が難しい。



A、B、Cの各商店街はそれぞれ別々のサービス券が必要です

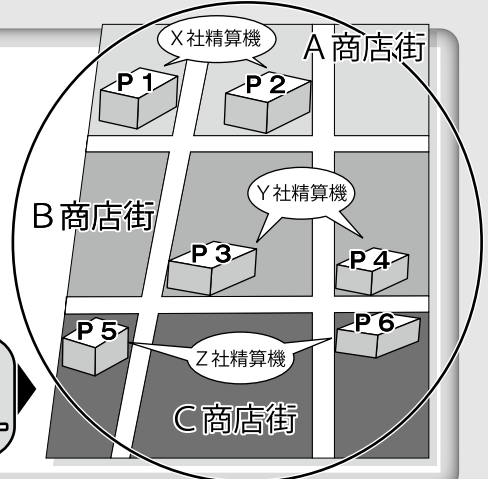
カードリーダーやソフトウェア改修等

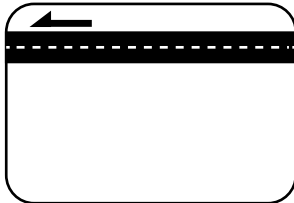
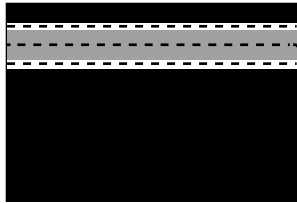


共通サービス券システム

- メーカーが異なる複数の精算機で、汎用（共通）で使える磁気式サービス券です。
- 料金サービスを共通化できます。
- 自動精算機がある場合、24H営業・無人化も可能になります。

A、B、Cの各商店街で発行したサービス券が全ての駐車場で使用できます



現行仕様（制式スペック1）	追加仕様（制式スペック2）
JISⅡ型相当品	JISⅡ型相当品
カード上面に磁気記録層ストライプ	カード下面に磁気記録層全面コーティング
	 磁気記録エリア ：カード下面

■お問い合わせ先

一般社団法人全日本駐車協会

TEL 03(3528)8305

■対応精算機メーカー

アマノ株式会社

日本信号株式会社

三菱プレジジョン株式会社

株式会社サニカ

TEL 045(439)1516

TEL 03(3217)7373

TEL 03(6712)1732

TEL 055(284)2413

目 次

PARKING No.255 / 2026・7

目 次 7

- 一般社団法人全日本駐車協会第65回
通常総会報告 8
会長挨拶・総会報告・役員名簿

- 総会講演会レポート 15

- 総会後見学会参加レポート 19

- 各地駐車協会 新会長の挨拶 24
名古屋駐車協会 祖父江 茂樹

- 各地駐車協会総会報告 25
一般社団法人大阪駐車協会 札幌駐車協会
山形駐車協会 仙台駐車協会 福島県駐車協会
新潟駐車協会 埼玉駐車協会 千葉駐車場協会
横浜駐車場協会 静岡県駐車協会
名古屋駐車協会 兵庫県駐車場協会連合会
岡山駐車協会 福岡駐車協会

- 駐車場コラム
「XXX(トリプルエックス)による
駐車場まちづくり
ーそのココロは、「Park & X × X-minute city」ー
..... 50
筑波大学名誉教授 谷口 守

- 情報発信「アンテナ」(第28回)
「ヨーロッパ駐車場アワードから
読み解く、駐車場を取り巻くトレンド
Vol.1」 53
モビリス・コンサルティング株式会社
代表取締役 木村 直子

〔表紙〕
筑波山神社
表紙についてはP.19をご覧ください。

- PARKING NOW 68

■国土交通省「令和7年度版(2025年)自動車駐車場
場年報」について
全日本駐車協会事務局
・「PARKING NOW」掲載情報提供のお願い

- PARKING IN TOKYO 72

■一般社団法人東京駐車協会第59回定期総会議事録
■役員名簿
■諸会議等報告

- 事務局だより 76

■令和8年春の叙勲 富山修一副会長が旭日双光
章を受章
■理事会報告
■令和8年度第3回理事会のご案内
■令和8年度事務局長会議のご案内
■令和8年秋季駐車場研修会(海外)のご案内
■委員会報告
■諸会議等報告
■会員動静
■人事
・全日本駐車協会 会員メールアドレス提供のお願い
・表紙題材募集のご案内

- 暑中お見舞い(名刺広告) 80

— P R —
三菱プレジジョン株式会社 P1・P64
三菱地所株式会社 P2
日本駐車場救急サービス株式会社 P3・P66
株式会社富士ダイナミクス P4・P63
日本信号株式会社 P5・P67
公益社団法人立体駐車場工業会 P65

協会事業のご案内—
「全日駐規格・汎用(共通)サービス券」システム P6
駐車場案内標識のご案内 P90

全日本駐車協会 第65回通常総会のご挨拶



一般社団法人 全日本駐車協会

会 長 木 村 恵 司

一般社団法人全日本駐車協会 第65回通常総会のご案内をさせていただきましたところ、会員の皆様には、ご多用にもかかわらず、ご出席いただき、誠にありがとうございます。

お蔭様で、予定しておりました議案の審議を執り行うことができました。この場をお借りして会員の皆様方に感謝申し上げます。

私も引き続き会長職をお引き受けすることになりました。よろしくお願い申し上げます。

本日は公務ご多忙にもかかわらず、平素より協会活動に対して、ご指導ご鞭撻を頂いております、

・国土交通省 大臣官房技術審議官

服部 卓也 様

・警察庁 長官官房審議官 交通局担当

阿部 竜矢 様

・東京都 都市整備局理事

長尾 肇太 様

のご臨席を賜っております。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

さて、昨今の内外情勢に目を向けますと、ウクライナ情勢の長期化に加え、中東地域ではアメリカによるイランへの軍事行動などを背景に不安定な状況が続き、世界経済の先行きに対する不透明感は一層強まっております。日本銀行の植田総裁も、5月27日の会見において、原油価格上昇が日本経済に与える影響について強い警戒感を示されました。また、足元では、現在の景気拡大局面の持続力に陰りが見え始め、戦後最長を更新できるかどうかに関し慎重な見方が出始めているのも事実であります。

もっとも、依然として設備投資に対するマインドは旺盛であり、インバウンド需要も引き続き堅調であることは日本経済を下支えするものとなっています。

こうした環境下においては、変化への対応力を高め、生産性向上や経営基盤の強化を着実に進めていくこと、つまり、環境変化を成長への契機として捉える姿勢が、今後ますます重要になるものと考えております。

私ども駐車場業界においても、建設コストや設備投資負担の増加、人件費の上昇、さらには利用動向の変化など、厳しい経営環境に直面しております。加えて、都市構造の変化やモビリティの多様化が進展する中で、駐車場に求められる役割も変わりつつあります。

所管官庁である国土交通省都市局においては、街づくりにおける「コンパクト・プラス・ネットワーク」の強化への取組みとして、新たに『都市交通施策の再整理に関する検討会』などのワーキングが開催され、そこでの議論を踏まえ、都市の持続可能性向上や交通の円滑化、脱炭素社会の実現に向けた各種政策が立案され推進されております。まさに、都市の重要なインフラとして、駐車場が果たす役割やあり方が問われる時代になり、デジタル技術の活用や効率的な運営、さらには地域との連携強化が求められております。

このような変化の時代においては、最新の政策動向を的確に捉え、柔軟かつ積極的に対応していくことが重要であると考えており、会員の皆様の期待にお応えできるよう協会としても対応してまいり所存でございます。皆様方におかれましても、これまで以上のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

最後になりますが、会員の皆様方のご健勝と益々のご発展を祈念いたしまして、簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。

本日は、誠に有難うございました。

以上

□一般社団法人全日本駐車協会第65回通常総会報告

1. 日 時 令和8年6月10日(水)
15時30分～16時15分
2. 場 所 東京都千代田区丸の内1-4-6
日本工業倶楽部会館2階「大会堂」
3. 総会員数
正会員 424名
4. 出席会員数
出席会員数 291名
内委任状提出会員数 223名
5. 議事の経過および内容
報告事項 令和7年度事業報告
第1号議案 令和7年度計算書類承認の件
第2号議案 令和8年度事業計画承認の件
第3号議案 令和8年度収支予算承認の件
第4号議案 役員選任の件
6. その他

(1)令和7年度主な事業活動

①総会・理事会及び委員会活動

会 議 名 称	開催回数		
	実開催	書面開催	計
第64回通常総会	1		1
理 事 会	3	1	4
総 務 委 員 会	2		2
企 画 委 員 会	4		4
組 織 委 員 会		1	1
調査研究委員会	3	1	4
広 報 委 員 会	4		4
事務局長会議	1		1
合 計	18	3	21

※委員会は原則として対面とオンラインを併用したハイブリッド開催

②教育研修活動等

i)通常総会時講演会

演題：「大河ドラマ『ペラポーの周辺』－
吉原雑談」

講師：渡辺 憲司 様(立教大学名誉教授)

ii)総会後見学会

開催日：令和7年6月12日(木)・13日(金)

行 先：大阪、奈良

行 程：

6月12日(木)

新大阪駅集合→大阪・関西万博→グラン
グリーン大阪→グランドメルキュール奈
良橿原(宿泊)

※意見交換会は「和楽心 新庄店」

6月13日(金)

ホテル出発→奈良観光(橿原神宮、今井
町、大神神社)→新大阪駅(解散)

参加者：42名

iii)令和7年秋季駐車場研修会

日 時：令和7年10月16日(木)～17日(金)

行 先：山形

行 程：

10月16日(木)

仙台駅集合→山形県生涯学習センター遊
学館→市内計画推進地等→文翔館及び霞
城公園→山形七日町ワシントンホテル(宿
泊)

※意見交換会は同ホテル内宴会場

10月17日(金)

ホテル出発→熊野大社→高畠ワイナリー
→柗下宿番所跡→仙台駅(解散)

参加者：44名

iv)事務局長会議後見学会

日 時：令和7年11月7日(金)

行 先：Japan Mobility Show 2025を視察

意見交換会：くいもの屋わん 新橋店にて
開催

v)令和8年新春駐車場研修会

日 時：令和8年2月6日(金)

方 法：オンライン開催

共 催：当協会、(一社)東京駐車協会、
(公社)立体駐車場工業会、(一社)日本自走式駐車場工業会、
(一社)日本パーキングビジネス協会

講 演：①「駐車場政策の最近の動向」
国土交通省 都市局
街路交通施設課 主査
大塚 駿 様

②「火山噴火時の交通への影響
予想について」
国立研究開発法人
防災科学技術研究所
火山防災研究部門長・上席研究員
藤田 英輔 様

③「世界に見るETC駐車場」～
その事業性研究～
ETCシステム株式会社
代表取締役 片山 賢治 様

参加者：150名(全日駐92名)

vi) 令和8年春季駐車場研修会

日 時：令和8年3月6日(金)

行 先：大手町パークビル、三郷IC周辺、
首都圏外郭放水路

行 程：ロジクロス三郷(2026年8月竣工
予定)の計画概要(三菱地所(株)
物流施設事業部)
東京海洋大学 名誉教授 苦瀬
博仁様より車中講話(「災害時の
物流」他)
三郷IC周辺の大規模物流施設群の
外観視察(車中より)
首都圏外郭放水路(防災地下神
殿)の見学視察

意見交換会：Beer&Spice KITTE丸の内店

参加者：44名

vii) 当協会後援

①第27回新春特別ビル経営セミナー

日 時：令和8年1月28日(水)

主 催：一般社団法人 日本ビルデング
協会連合会

日本ビルデング経営センター

後 援：当協会、東京駐車協会、東京ビ
ルデング協会、不動産協会、ほ
か

②機械式立体駐車場Web安全講習

日 時：令和7年11月7日(金)～11月27日
(木)

主 催：公益社団法人 立体駐車場工業
会

後 援：当協会、消費者庁、国土交通省

③その他活動

i) 団体パーキング保険

令和8年3月31日時点、契約数54件(前
年比+12)、会員数32件(前年比+3)。

ii) 全日駐規格「汎用(共通)駐車サービス券」
7地区(浜松・秋田・八戸・新潟・福
井・名古屋・大分)合計で加盟駐車場
数162か所、駐車台数約20,300台

iii) 新年賀詞交歓会

日 時：令和8年1月23日(金)

場 所：日本工業倶楽部会館2階

「大会堂」

主 催：当協会、(一社)東京駐車協会

(2) 令和8年度事業計画(基本方針)

駐車場事業を取り巻く環境の変化や駐車場
に求められる役割がかわりつつある社会情勢
を踏まえ、価値ある情報を収集し、会員及び
駐車場関係者に広く発信していくこと、会員
相互の情報交換・意見交換及び相互啓発を活

発に行く。これらの取り組みが、業界の発展・成長に必ず寄与すると考え、本年度は活動基本方針として下記5つを重点に置き、協会活動を実施していく。

- ①各地駐車協会及び会員相互の情報交換・意見交換及び相互啓発の促進
- ②価値ある情報の収集と幅広い発信
- ③新規会員の入会促進
- ④協会独自事業の推進(団体パーキング保険・全日駐規格「汎用(共通)駐車サービス券」)
- ⑤国土交通省他関係官庁の各種施策への協力及び積極的な意見具申



[ご来賓挨拶]

ご来賓：国土交通省大臣官房技術審議官
服部 卓也 様
警察庁長官官房審議官交通局担当
阿部 竜矢 様
東京都都市整備局理事
長尾 肇太 様

時 間：16時20分～16時50分

次 第：木村会長挨拶

ご来賓紹介

服部様 ご挨拶

阿部様 ご挨拶

長尾様 ご挨拶



国土交通省大臣
官房技術審議官
服部様



警察庁長官官房審議官
交通局担当
阿部様



東京都都市整備局理事
長尾様

[講演会]

時 間：17時00分～18時00分

演 題：自動運転の現在地－技術開発の現状
と社会への影響

講 師：電動モビリティシステム専門職大学
教授・学長上席補佐

古川 修(よしみ) 様

(講演内容については、「総会講演会レポート」をご覧ください)



講師
古川様

[意見交換会]

時 間：18時00分～19時30分

次 第：

・ご来賓紹介

国土交通省

都市局街路交通施設課長

筒井 佑治 様

都市局街路交通施設課

街路交通施設安全対策官

高濱 康亘 様

一般社団法人日本自走式駐車場工業会

理事長 清家 政彦 様

専務理事 亀村 幸泰 様

一般社団法人日本パーキングビジネス協会

副理事長 吉川 幸孝 様

事務局長 山本 稔 様

公益社団法人立体駐車場工業会

専務理事 菊地 英一 様

事務局長 岡部 達郎 様

講演者

電動モビリティシステム専門職大学

教授・学長上席補佐

古川 修 様

・感謝状贈呈

後藤 英夫 様

(依田 耕治 様はご欠席)

・乾杯

竹歳副会長

・歓談

・中締め

富山副会長

参加者：95名



後藤様と木村会長



竹歳副会長



富山副会長

[見学会]

開催日：令和8年6月11日(木)・12日(金)

行 先：つくば方面

行 程：6月11日(木)

(一社)つくば都市交通センター訪問

→国土技術政策総合研究所他視察→

意見交換会→つくば市内(宿泊)

6月12日(金)

宿泊先→筑波山周辺散策→水郷佐原

(伊能忠敬生家)→東京駅(解散)

以上

一般社団法人全日本駐車協会 役員名簿

令和8年6月10日現在

役 職 名	氏 名	所属協会	会 社 名 等
会 長	木 村 恵 司	東 京	三菱地所株式会社
副 会 長	竹 歳 誠	〃	三菱地所株式会社
〃	富 山 修 一	新 潟	新潟駐車場株式会社
常任理事	齋 野 五兵衛	山 形	株式会社ひろあき
〃	城 阪 勝 喜	大 阪	松栄株式会社
〃	菅 原 甚 一	仙 台	株式会社千松島
〃	須 藤 憲 一	千 葉	株式会社須藤ビル
〃	江 戸 耕 介	東 京	首都高速道路株式会社
〃	三 野 武 彦	〃	東京ガレーヂ株式会社
〃	永 井 京 子	横 浜	横浜新都市センター株式会社
〃	湯 川 雅 史	東 京	公益財団法人東京都道路整備保全公社
〃	戸 嶋 和 夫	福 岡	中央地所株式会社
〃	祖父江 茂 樹	名 古 屋	株式会社東海放送会館
理 事	三 浦 修 一	福 島 県	有限会社三浦商店
〃	宮 浦 栄太郎	兵 庫 県	宮浦商事株式会社
〃	辻 清 州	高 松 市	株式会社グランド劇場
〃	加 藤 久 喜	東 京	有限会社スカイ・ガレーヂ嶋屋
〃	大田部 功	高 崎	柳通り駐車場
〃	藤 井 一 也	岡 山	有限会社エフプラン
〃	増 岡 真 一	東 京	株式会社鉄鋼ビルディング
〃	稲 葉 一 匡	静 岡	静岡委託商事有限会社
〃	遠 藤 隆 三	札 幌	遠藤興産株式会社
〃	中 村 茂	埼 玉	株式会社マサキ管理サービス
〃	大平落 忠	東 京	三菱地所プロパティマネジメント株式会社
〃	吉 田 恭 彦	〃	三菱地所パークス株式会社
〃	上 條 恵二郎	〃	ダイビル株式会社
〃	渡 辺 英 一	〃	タイムズ24株式会社
〃	内 田 秀 人	福 岡	株式会社八百治
〃	村 田 修	東 京	株式会社サンシャインシティ
〃	渡 邊 覚	〃	株式会社銀座パーキングセンター
〃	古 橋 明	名 古 屋	株式会社ユニモール
〃	牛 場 浩 哉	大 阪	三菱地所株式会社関西支店
専務理事	荒 井 昭 雄	東 京	一般社団法人東京駐車協会兼務
常務理事	佐 藤 恒 仁	〃	一般社団法人東京駐車協会兼務
監 事	村 田 仁 史	東 京	株式会社東京交通会館
〃	依 田 耕 治	名 古 屋	株式会社エスカ

江戸常任理事は6月25日付で辞任されております。

□総会講演会レポート

一般社団法人全日本駐車協会

演 題：自動運転の現在地－技術開発の現状と社会への影響－

講 師：電動モビリティシステム専門職大学 教授・学長上席補佐 古川 修 様

第65回通常総会に引き続き、電動モビリティシステム専門職大学 古川 修 様より、自動運転の現在地－技術開発の現状と社会への影響－について、ご講演を頂きました。

＜講師紹介＞

古川修様は1948年、東京生まれ。1971年東京大学工学部産業機械工学科卒。1977年同大学院工学研究科船用機械工学専攻博士課程単位取得退学。

1977年(株)本田技術研究所入社。4輪操舵システムの発明～基礎研究～応用研究～商品開発のプロジェクト責任者として、1987年に三代目プレリウドで世界初の乗用車用4輪操舵装置「舵角応動型4輪操舵システム」を実用化。その後、自動運転、人間型2足歩行ロボットなどの先端技術の研究開発プロジェクト責任者を歴任。

2002年ホンダを退職して芝浦工業大学システム工学部教授に就任。先進運転支援システム、超小型モビリティ、調理支援システムなどの研究開発・教育に従事。

2018年芝浦工業大学を退任。2019年明治大学自動運転社会総合研究所の客員研究員として、対馬市に自動運転の社会実装するプロジェクトの責任者に就任。2023年にターゲットライン方式という新しいシステムの自動運転の実証実験を実施。

2023年4月に山形県飯豊町に新設開学した電動モビリティシステム専門職大学教授・学長上席補佐に就任。

本田技術研究所時代、芝浦工業大学時代に2回にわたって、先進運転支援システム/自動運転の国際標準化活動「車両/道路制御分科会」ISO/TC204/Wg14の国際コンビーナ(議長)就任。国交省「先進安全自動車検討会」の分科会長、座員、「自動車整備の高度化検討会」座員など歴任。

＜講演内容要旨＞

・今回の講演内容の全体像

- ①自動運転は「場所を選べば」すでに実用段階である
- ②ただし「どこでも完全自動」はまだ先である
- ③駐車場は自動運転社会の入口になる

④事業機会は「駐める場所」から「移動の結節」へ

①自動運転は「場所を選べば」すでに実用段階である

- ・自動運転は二極化している
- ・「技術ができたか」ではなく、「どの場所・条件・責任分担なら事業として成り立つか」が焦点。
- ・自動運転レベルは「誰が責任を持つか」で見る
 - L1(一部支援 責任：人)
 - L2(縦+横を支援 責任：人)
 - L3(条件内は自動 責任：システム→人へ交代)
 - L4(限定地域で無人化 責任：システム)
 - L5(どこでも完全自動 責任：システム)
- ・現在の市販車
 - 中心はL2、高級車で一部L3。
- ・ODD(運行設計領域「この条件なら自動運転してよい」という範囲)
 - 自動運転の「得意な場所」を決める考え方。
- ・世界の新しい状況①
 - ロボタクシーは米国で急拡大。
- ・自動運転技術の発展の歴史概要
- ・世界の新しい状況②
 - 撤退・縮小も同時に起きている。
- 〈進んでいる動き〉Waymo等が地理を絞って商用拡大。中国では百度Apollo Go等が都市展開。メルセデスはL3の速度域を拡大。日本でもタクシーGOがWaymoと連携して実証実験開始。
- 〈退く動き〉GMはCruiseへのロボタクシー投資を停止。無人車専用設計車の計画は見直し。「技術」より「資金・安全・規制・信頼」が壁に。
- 〈結論〉勝ち筋は「巨大投資で全方位」ではなく、「勝てるODDを選び、運用で安全を作る」方向へ。
- ・日本の新しい状況
 - 制度はL4に対応済み。日本は「制度が無いからできない」段階は越えた。次は、安全保障・費用・運用人材・地域ニーズの壁。

②ただし「どこでも完全自動」はまだ先である

- ・なぜ「どこでも完全自動」は難しいのか
- ・自動運転は「運転操作」よりも、「予測不能な社会の安全にふるまう」ことが難しい。
- ・技術の中身は「見る・考える・動かす」
 - AIの進歩で「見る・考える」は大きく進んだが、安全確認の方法はまだ課題。
- ・生成AI・基盤モデルで何が変わるか

進化の方向は「運転専用AI」から「世界を理解するAI」へ。ただし、AIが賢く見える程安全保証は慎重に。

- ・安全保証

走った距離だけでは証明しきれない。自動運転の安全は、車両単体ではなく「車両+道路+通信+運行管理+利用者教育」で作る。

- ・遠隔監視は「無人運行」の実用化を支える裏方

一人の監視員が複数台を見守る。停止・乗客対応・非常時判断のルールが必要。通信途絶時の安全状態設計が重要。

- ・ラストマイル交通

期待は大きいが採算が難しい。(電磁誘導方式、GNSS(GPS)方式、自律検知方式～高精度デジタル地図と照合)いずれの方式も、コストが莫大、収益は僅か→地方行政の事業として継続することが難しい。

〈地域交通の課題〉高齢化・免許返納・公共交通の衰退。運転手不足と運行コスト上昇。

利用者が少ないほど採算が悪い。

〈自動運転への期待〉「交通を自動化する」だけでなく、買物・医療・観光・物流と一体で設計する必要。

- ・ラストマイル自動走行サービス

国土省・経産省が主導。全国各地で実証実験を実施。社会実装に至らず。

〈課題〉(1)交通安全の保証(2)導入・運営コストの大幅削減(3)移動ニーズへ適合できていない

〈解決のカギ〉：モビリティ社会の総合デザイン：雪国でも対応可能な高度自動運転技術の開発 1)環境認識・行動計画技術 2)制御技術 3)多重防護柵を適用したシステムデザイン

③駐車場は自動運転社会の入口になる

- ・駐車場業界に関係する3つの変化

(1)駐車場の自動化(2)乗降・待機の増加(3)モビリティハブ化

駐車場は「クルマを置く場所」から「自動運転車を運用する場所」へ変わる可能性。

- ・自動バレーパーキング

駐車場は最も実用化しやすいODD。

〈なぜ駐車場は有利か〉低速で、走行区域を管理しやすい。歩行者・車両の流れを設計できる。入口・出口・充電・精算と連携しやすい。

〈課題〉設備投資、責任分担、施設ごとの差、既存車両との混在、事故時対応。

- ・ロボタクシー時代

駐車需要は減るのか、変わるのか。

単純な「駐車台数減少」ではなく、立地ごとに収益モデルが変化する。

- ・駐車場がモビリティハブになる

EV充電、ロボタクシー待機、地域シャトル、宅配受け渡し、観光案内、防災拠点を束ね

る「都市・地域の結節点」へ。

・ 駐車場側に求められる準備

空間設計、デジタル化、EV対応、安全運用、連携。最初から完全自動運転対応にせず、「データ化・EV化・安全動線」から始めるのが現実的。

・ 社会への影響

便利になるが、配慮すべきことも多い。自動運転は単なる車両技術ではなく、社会システムの再設計。

・ 普及シナリオ

一気に来るのではなく、場所別に広がる。駐車場は「普及の最後」ではなく、むしろODDを作りやすい「普及の入口」になり得る。

④事業機会は「駐める場所」から「移動の結節」へ

・ 駐車場協会への提案

・ 3段階で取り組む。STEP1見える化。STEP2小さな実証。STEP3地域連携事業。“自動運転が来たら対応“ではなく、“自動運転が来やすい場所を作る“発想が重要。

〈従来の駐車場〉

クルマを置く場所

時間貸し・月極

空き台数管理

単独施設

〈自動運転時代の駐車場〉

車両を運用する場所

乗降・待機・充電・清掃・点検

車両・人流・電力・予約の管理

駅・商業・病院・観光・防災との結節点

＜まとめ：自動運転の現在地＞

1. 自動運転は、限定条件では実用段階に入った。
2. 「どこでも完全自動」はまだ先。ODDと運行管理が鍵。
3. 駐車場は、自動運転社会の入口・待機・充電・結節点になり得る。
4. 準備は、データ化・EV化・安全動線・地域連携から始める。

以上

□ 第65回 総会後見学会参加レポート

6月11日(木) 見学会1日目

株式会社須藤ビル
常務取締役 時松 進一郎

令和8年6月11日(木)、初夏の陽気の中、「通常総会後見学会」に参加させていただきました。本見学会では交通・都市政策・研究機関および関連施設を視察し、参加者同士の意見交換を通じて今後の事業推進に資する知見を得ることを目的として参加させていただきました。

行程

- ・(一財)つくば都市交通センター視察
- ・国土技術政策総合研究所視察
- ・国土地理院視察
- ・筑波実験植物園視察
- ・意見交換会(ひたち野)



当日は丸の内鍛冶橋駐車場に8時50分に集合し9時にバスにて出発いたしました。始めに訪問したつくば都市交通センターでは、司様および野村様より「つくばセンター地区の概要」「財団の概要」「財団が管理する7つの駐車場の概要」並びに「令和7年度調査研究概要」について詳細な説明を受けました。

つくばセンター地区はつくば駅を中心に発展した計画都市であり、縦横約48kmに及ぶペDESTリアンデッキにより各施設が接続されている点が大きな特徴です。センタービルやノバホールでは定期的にイベントが開催されるなど、集客力の高い都市構造が形成されています。また、中央公園や図書館、美術館、エキスポセンターなどの文化・教育施設が集積し、北側には医療エリアが広がるなど、機能ごとに整理された都市計画がなされていました。

同財団では7つの駐車場を管理しており、南1(商業)、南2(業務・宿泊関連)、南3・南4(業務・施設利用)、北側(文化・医療・教育)といったように、立地特性に応じた運用が行われています。特に南1駐車場では階層別運用、回数券の自動販売機導入やレシートによる駐車サービス(最大3時間無料)などが実施されており、利用者利便性向上への工夫が見られました。さらに、車番認証・QR券・キャッシュレス決済といった新たな管制システムの導入も検討されているとのことで、運営の効率化とサービス向上の両立に取り組まれています。

一方で、築40年を超える施設の老朽化や、労務費・資材費の高騰に伴う修繕費の増大といった課題も共有いただき、現場運営の実情について理解を深めることができました。また、パフォーマンスギャラリーの運営やランチタイムコンサートの開催など、地域社会への貢献活動にも積極的に取り組まれている点が印象的でした。

その後、国際会議場から南4駐車場、南3駐車場、センター広場を巡るルートで現地視察を行い、ペデストリアンデッキと駐車場配置の関係性や利用動線を体感することで、より具体的な理解を得ることができました。



昼食は「割烹一の矢」にていただきました。こだわりの自家菜園による無農薬野菜を使用し四季折々の食材をふんだんに取り入れた和食を楽しみ、参加者同士が和やかに交流を深める有意義な時間となりました。落ち着いた雰囲気の中で英気を養い、午後の視察に備えることができました。

午後は国土技術政策総合研究所を訪問し、総務課の遠山様よりご説明をいただきました。施設概要のビデオ視聴の後、バスに乗りし広大な実験フィールドを見学しました。同研究所では、道路・橋梁・トンネルといった社会インフラに関する様々な研究が行われており、延長約700mの試験路や最大傾斜27度の走路など、実環境に近い条件での実証実験が可能な設備が整備されています。



特に印象的であったのはトンネル実験施設で、内部に雨や霧といった気象条件を再現し、自動運転への影響を検証している点でした。また、ITS関連設備や交通標識・照明・遮音壁などの実験施設を通じて、日常的に利用している道路環境が多くの検証を経て構築されていることを学びました。

見学の中では傾斜走路において実際にバスから降車する機会があり、参加者一同でその勾配を体感しました。普段の道路では体験し得ない角度に驚きの声も上がり、各参加者が写真撮影や実際に最高地点まで歩いて登るなど、それぞれの形で理解を深めていました。数値としての傾斜だけでなく、実際に体験することで道路設計の特性や安全性への配慮をより具体的に実感することができました。



さらに、橋梁部材の劣化や事故による損傷事例の展示では、インフラ維持管理の重要性を強く認識しました。打音検査の体験や、超音波・赤外線を用いた非破壊検査技術の説明を通じ、今後の維持管理における技術の重要性について理解を深めることができました。また、建設DXや土工フィールドの見学、災害現場で活用される特殊重機の紹介



などもあり、社会インフラを支える技術の進展を実際に見ることができました。

続いて訪問した国土地理院「地理と測量の科学館」では、地図作成や測量技術について学びました。館内で体験した「日本列島の空中散歩」は、床一面に広がる日本地図を館内で配布された3D眼鏡越しに観覧する展示であり、立体的に地形を把握できる臨場感のある内容となっていました。まるで上空から日本列島を俯瞰しているかのような感覚を味わうことができ、地理情報の理解を深める貴重な体験となりました。



その後、筑波実験植物園を視察し、我々のグループはボランティアガイドの西村様にご案内いただきました。園内には約7,000種の植物が保有されており、熱帯雨林温室をはじめとした多様な展示が行われています。温室内では高温多湿の環境が再現され、実際の熱帯地域に近い空間が広がっていました。



バナナやカカオ、バナナといった身近な植物から、メタセコイアや奇想天外といった珍しい植物まで幅広く展示されており、植物の多様性と適応力の高さに強い関心を抱きました。また、世界でもっともみにくい花とも呼ばれるショクダイオオコンニャクや食虫植物などは来園者にも人気が高く、教育的価値の高さを実感しました。

園内には触れて体験できる展示コーナーも設けられており、サボテンや食虫植物などを実際に観察することができました。西村様より「このサボテンは触ってもあまり痛くありません」とご説明を受け実際に触れてみたところ、思いのほかしつかりとした刺激があり、参加者の間で和やかな笑いが生まれる一幕もありました。こうした体験型の展示により、視覚だけでなく体感を通じて学ぶことの重要性を実感しました。



園内の動線や展示方法も工夫されており、来園者の興味を引きつけながら回遊性を高める施設運営のあり方についても多くの示唆を得ることができました。

夕刻には「ひたち野」にて焼肉をいただきながら意見交換会が開催されました。ひたち野は奥飛騨白川郷の築約二百年の古民家三軒を筑波山風返峠に移築した合掌造りの建物とのことで、風情ある外観が周囲の景観と見事に調和していました。館内は檜の柱や松の梁が配された落ち着いた空間となっており、非日常的な雰囲気の中でくつろぎながら交流を深めることができました。



一日の視察を振り返りながら、各参加者がそれぞれの視点で意見を交わし、終始和やかな雰囲気の中で活発な交流が行われました。視察で得た気づきを共有することで新たな視点を得る

ことができ、非常に有意義な時間となりました。その後ホテルへ到着し初日の行程を終えました。

今回の見学会1日目では、都市交通、インフラ技術、地理情報、自然環境といった多角的な分野について視察し、幅広い視点から学びを得ることができました。特に、都市計画と駐車場運営の関係性や、社会インフラを支える技術の重要性について理解を深めるとともに、今後の業務に活かすべき多くの示唆を得ることができました。

また、参加者同士の交流を通じて得られた知見も大きな財産であり、今後の事業推進に活かしていきたいと考えております。

最後に、本見学会の開催にあたりご尽力いただいた関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

6月12日(金) 見学会2日目

株式会社富士ダイナミクス
パーキング営業統括部 仙波 博

視察：

・筑波山神社 ・筑波山ケーブルカー ・伊能忠敬記念館 ・佐原の街並み

昼食：

・亀甲堂



最初に足を運んだ筑波山神社は、関東有数の霊峰として知られる筑波山の中腹に鎮座している。古くから山岳信仰の中心として人々の祈りを集めてきたこの場所には、山そのものが信仰の対象であった時代の面影が、今も静かに息づいている。

境内に一步足を踏み入れると、豊かな緑に包まれた厳かな空気が流れ、日常とは異なる時間の中に身を置いたような感覚を覚えた。歴史ある建造物や文化財を見学する中で、長い年月をかけて受け継がれてきた伝統の重みが自然と伝わってくる。また、多くの参拝者や観光客でにぎわう様子から、信仰の場であると同時に、地域の歴史や文化を観光資源として活かし、地域活性化へとつなげている姿も感じ取ることができた。

続いて筑波山ケーブルカーに乗車し、山頂付近へ向かった。車窓の外には深い緑が広がり、斜面をゆっくりと上っていくにつれて、自然そのものが持つ観光資源としての価値を改めて認識させられた。あいにく雲の多い空模様ではあったものの、山頂から望む景色は趣深く、澄んだ空気が心身を静かに整えてくれるようであった。麓には旅館が立ち並び、筑波山が茨城県を代表する一大観光地として親しまれていることも実感した。自然の魅力を守りながら、観光振興へと結びつけていく地域の取り組みについて考える貴重な機会となった。

午後には、千葉県香取市にある伊能忠敬記念館を訪れた。伊能忠敬は、日本全国を測量し、後世に残る精密な日本地図を完成させた人物として広く知られている。展示資料や丁寧な解説を通じて、その偉業の背景にあった努力、知識、そして測量技術の高さに触れることができた。

特に心に残ったのは、伊能忠敬が現在の価値で約35億円ともいわれる財を成し、その資金をもとに55歳から本格的に学問の道へ進み、以後17年にわたって全国を歩き測量を続けたという事実である。人生の後半に差しかかってなお新たな挑戦へ踏み出し、明確な目標に向かって粘り強く歩み続ける姿勢には、時代を超えて胸を打つものがある。現代を生きる私たちにとっても、年齢や環境を言い訳にせず、学び続けることの大切さを教えてくれる存在であると感じた。日々の業務においても、現状に満足することなく、自らを磨き続ける姿勢を忘れてはならないと改めて思う。

その後、伊能忠敬ゆかりの地である佐原の町並みを散策した。小野川沿いには、江戸時代から続く商家や蔵が軒を連ね、歴史的な景観が今も大切に守られている。古い建物が単なる保存物としてではなく、町の営みの中に自然に溶け込み、訪れる人々を迎えている様子が印象的であった。



伝統的な建築物と現代の観光資源が調和し、多くの観光客でにぎわう町の姿からは、地域全体で歴史的価値を守りながら、活性化へとつなげようとする意志が伝わってくる。実際に町を歩くことで、文化財を保存するだけでなく、人々が訪れ、交流し、地域経済の循環を生み出す仕組みづくりの重要性を肌で感じる事ができた。

最後に、このような貴重な体験の機会をいただいたことに、心より感謝申し上げます。見学会の実施にご尽力くださいました事務局の皆様、そして総会から見学会に至るまで素晴らしい企画を計画・運営してくださいました全日本駐車協会の皆様に、改めて深く御礼申し上げます。

各地駐車協会 新会長の挨拶



名古屋駐車協会

会長 祖父江 茂樹

2026年6月に名古屋駐車協会の会長に選任されました、株式会社東海放送会館の祖父江茂樹です。

前会長・依田耕治氏の後任として、全日本駐車協会ならびに名古屋駐車協会の発展のために、微力ではありますが尽力いたしたいと存じますので引き続き宜しくお願いいたします。

名古屋駐車協会は、2026年7月現在で、正会員31社、賛助会員15社で構成されています。

昨年度は、視察研修会や講演会等を開催し、最新の駐車場施設の研究や防災対応への意識向上を図りました。

また昨年9月、三重県下で地下駐車場の大規模水没事態が発生したことを受け、会員駐車場の排水・浸水対策設備、人的防災体制等の情報交換を行い、街の構造の変化や気候変動に伴う新たな防災対策の必要性を確認しました。

今年度の事業計画は、これまでの基本方針を継承し、①会員駐車場の利用促進に有効な施策が講じられるよう関係機関への要請などの諸活動、②新しい駐車場の在り方研究、③会員駐車場の実態調査、④新規会員の増加による会員組織の拡大等に取り組んでまいります。

また名古屋市は、都心部における駐車場の需給関係の変化やまちづくりと連携した駐車施策の必要性の観点から、名古屋市駐車場整備計画の見直しに着手しており、新たな計画への会員意見の反映に努めてまいります。

会員の皆さまの駐車場事業、そして全日本駐車協会ならびに名古屋駐車協会の発展に向け、全力で取り組んでまいりますので、ご支援ご協力をお願い申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。

□各地駐車協会総会報告□

一般社団法人大阪駐車協会 第38回通常総会

日 時：2026年6月23日

場 所：松栄株式会社 会議室

(大阪市港区南市岡2-10-17)

理事総数：8名 出席理事 3名

城阪勝喜 小川潔 牛場浩哉

監事総数：2名 出席監事 1名 井上巨太郎

議 事

1 報告事項

第1号議案 2025年度事業報告の件

第2号議案 2025年度決算報告の件

2 決議事項

第3号議案 2026年度事業計画案の件

第4号議案 2026年度収支予算案の件

第5号議案 理事選任の件

理事 菅沼健太郎は退任し後任として牛場浩哉を選任

理事 城阪勝喜 牛場浩哉 小川潔

望月靖允 沢田芳之

大西尚光 西口和広 松田晃治

以上、全議案理事・監事及び正会員の全員の同意により可決。

2025年度事業報告

1 総会・理事会

(1)第37回通常総会

日 時 2025年6月30日

議 事 第1号議案 2024年度事業報告の件

第2号議案 2024年度収支決算の件

第3号議案 2025年度事業計画

案の件

第4号議案 2025年度収支予算

案の件

第5号議案 役員改選の件

いずれも原案どおり承認可決された。

(2)理事会

日 時 2025年6月30日

議 事 第37回通常総会開催の件

2026年度事業計画

1 関係官庁の行事等への参画

(1)「全国交通安全運動」に伴う各種行事等に参画する。

2 路上駐車追放推進事業の実施

(1)路上駐車追放を図るための広報。啓発用資料の作成・配布。

(2)駐車場案内統一表示版の設置を企画する。

3 駐車場事業の適正な運営の推進

(1)駐車場事業の経営、管理の改善に関する調査・研究を実施する。

4 関係行政機関との連携強化

(1)警察本部及び各警察署が行なう交通警察行政並びに地方自治体等が主唱する交通安全行政に積極的に協力する等連携強化する。

(2)必要により担当官の派遣を求め、研修等において指導を受ける。

5 会員研修会の実施

(1)駐車場経営・管理に関する研修会を実施する。

- (2)交通安全対策研修会を実施する。
- (3)業務関連事故防止対策研修会を実施する。

6 組織の充実強化等

- (1)組織拡大のため未加入に対して加入勧奨する。
- (2)近畿圏連絡会議の実施を提唱する。

7 その他のサービス業務

- (1)自動車保管場所証明申請者の利便を図るため、駐車場契約手続き等に関する教示、指導をする。

会員(正会員)の状況(2026年6月23日現在)

大阪東駐車協会

大阪法人駐車協会

港区駐車場協会

以上

一般社団法人大阪駐車協会 役員名簿

令和8年6月23日現在

役 職 名	氏 名	会 社 名 等
会 長	城 阪 勝 喜	松栄ホールディングス株式会社
副 会 長	牛 場 浩 哉	三菱地所株式会社 関西支店
〃	小 川 潔	三泉商事株式会社
理 事	望 月 靖 允	望月ビル株式会社
〃	沢 田 芳 之	銀泉株式会社
〃	大 西 尚 光	大阪港振興株式会社
〃	西 口 和 広	西口登記測量事務所
〃	松 田 晃 治	サンゼンハイツガレージ
監 事	濱 口 賢 二	株式会社 浜口組
〃	井 上 巨太郎	行政書士法人 井上総合事務所

□各地駐車協会総会報告□

札幌駐車協会 第59回定期総会

1. 日 時

令和8年5月13日(水)

午前11時00分～11時50分

2. 場 所

札幌市中央区北1条西2丁目

北海道経済センター3階「特別会議室B」

3. 出席人員

議決票人員

本人出席 12名

委 任 状 6名

計 18名

会員 正会員 23名 賛助会員 7名

計30名

4. 議 案

第1号議案 令和7年度事業報告(案)並び
に収支決算承認に関する件第2号議案 令和8年度事業計画(案)並び
に収支予算(案)決定に関する
件第3号議案 任期満了に伴う役員選任及
び役付理事の選定(案)に関
する件全議案について、出席者全員の賛成を
得、原案どおり承認可決された。

5. その他

令和8年度行事予定の説明

6. 議事のうち、主要事項

(1)令和7年度事業報告

北海道経済では、新幹線の延伸時期延
期が確定的になったが、次世代半導体量

産化を行うラピダスの生産体制構築によ
る将来の経済底上げが期待できる。札幌
中心部では1972年冬季オリンピック時代
のオフィスビル解体・新築竣工が増加
し、街の情景が変化しつつある。

道内経済では、訪日観光客の増加回復
や次世代半導体の製造量産化を目指すラ
ピダスの稼働本格化もあり、総じて底堅
く推移した。

このような状況下、当年度は昨年度に
引き続き以下の諸活動を積極的に実施し
た。

当協会では関係機関との協力や一般社
団法人全日本駐車協会との連携により、
環境に優しい駐車場の整備促進やバリア
フリー化の推進等の諸課題に関する情報
の早期収集と会員への情報伝達に努め、
今年度は以下の活動展開を図った。

1. 会員組織増強活動

当年度も会員増強を図ったものの賛助
会員の退会が1件あり、当年度末現在の
会員数は、正会員23社、賛助会員 7社
計30社となった。

2. 例会、見学会等の活動展開

当年度は会員の駐車場経営の管理向上
に資するため、(一社)北海道ビルデング
協会との共催を活用し、計3回の例会、
見学会を実施し、延べ18名の参加を得た。

3. 会員交流親睦活動

例年開催している(一社)北海道ビルヂ

ング協会との共催によるゴルフ同好会のコンペ例会は、予定した年3回のコンペを全て開催することが出来た。

また、年末の「忘年懇親会」を(一社)北海道ビルディング協会との共催で実施し、ビル協重複会員11社17名の会員の参加を得た。

(2)令和8年度事業計画

1. 新規会員の加入を積極的に図り、組織の拡大強化安定に努める。
2. 駐車場経営の健全な発展のため、情報の早期把握、調査、研究を積極的に行い、資料等の適切な配付を行う。

3. 関係諸官庁の行政に対処し、事故防止等の交通安全、自動車盗難等の防止に協力するため

(一社)全日本駐車協会及び関係機関との連携強化に努める。

4. 会員の経営向上と親睦を図るため、(一社)北海道ビルディング協会との連携も活用し、講演会、研修会、情報交換会等を開催する。
5. 札幌市が展開するまちづくり政策や交通政策に対し、当協会会員の意見反映に努める。

以上



総会開催模様・出席者集合写真

札幌駐車協会 役員名簿

令和8年5月13日現在

役 職 名	氏 名	会 社 名 等
会 長	遠 藤 隆 三	遠藤興産(株)
副 会 長	水 落 隆 志	札幌商工会議所
常任理事	松 崎 永 太	三菱地所(株)北海道支店
理 事	瀬 尾 昌 資	サントー(株)
〃	東 幸 治	三井不動産(株)北海道支店
〃	田 中 俊 成	(株)札幌都市開発公社
監 事	真 木 陽 子	(株)丸真 真木呉服店
〃	山 崎 年 恵	(株)まるいち

□各地駐車協会総会報告□

山形駐車協会 令和8年通常総会

1 日 時 令和8年5月21日(水)16時30分～

2 場 所 N-GATE 1階 会議室

3 出席人員

出席：正会員6社 賛助会員1社

欠席委任状：正会員4社 賛助会員1社

4 山形駐車協会通常総会 議事

第一号議案 令和7年度事業報告

令和7年度会計報告

第二号議案 令和8年度事業計画

令和8年度予算計画

第三号議案 事務局変更の件

(株)ひろあきから、山形まち
づくり(株)に変更

第四号議案 その他

上記議案は原案通り可決成立

<令和7年度事業報告>

(1)通常総会

日 時 令和7年6月25日(水)

場 所 山交ビル 7階 会議室

第一号議案～第三号議案 原案通り可決

(2)全日本駐車協会秋季駐車場研修会(山形市)

日 時 令和7年10月16日(木)～17日(金)

場 所 山形県生涯学習センター

「遊学館」 3階 会議室

議 題 山形市まちなか駐車場適正化計画
について山形駐車協会活動及び歴史について
意見交換会出席者 全日本駐車協会 竹歳副会長ほか
44名、山形駐車協会5名

(3)山形・仙台駐車協会合同例会

日 時 令和7年11月2日(木)

場 所 千松島ビル 会議室

議 題 仙台市の駐車場状況について

仙台駐車協会様との意見交換会

出席者 仙台駐車協会 菅原会長ほか4名、

山形駐車協会 4名

(4)山形駐車協会例会

日 時 令和8年3月30日(月)

場 所 山交ビル 7階 会議室

議 題 山形市中心市街地グランドデザイ
ンについて

今後の山形駐車協会の運営について

講 師 菊地健太郎(山形市議会副議長)

<令和8年度事業計画>

1 例会において各駐車場の状況報告、改善
等の事例報告を行い、互いに情報を共有
し問題・課題の共通認識を図る。2 行政各機関および各関係機関との中心市
街地における駐車場のあり方について、
継続協議していく。3 駐車場に関する情報交換と懇談会を開催
する。4 会員駐車場が抱える共通問題の解決を図
るため、研修会等を実施する。

5 全国交通安全運動の実施に協力する。

6 駐車場内の事故防止・犯罪対策・飲酒運
転撲滅運動を推進する。7 全国および東北地区の駐車協会参加によ
る情報交換を行う。

以上

山形駐車協会 役員名簿

令和8年5月21日現在

役 職 名	氏 名	会 社 名 等
会 長	齋 野 五兵衛	株式会社ひろあき
理 事	渡 邊 俊	一般財団法人 山形市都市振興公社
〃	佐々木 三千代	有限会社 越後屋
監 事	斯 波 誠	合同会社 本町ビル
〃	吉 田 研 二	ヨシダパーキング

□各地駐車協会総会報告□

令和8年度 仙台駐車協会 第64回定時総会

1. 日 時 令和8年5月26日(火)
16:30～18:30
2. 場 所 仙台ロイヤルパークホテル
3. 第64回定時総会開催方法の決議
賛成23、反対0、回答なし4 計 27社
会 員 正会員 15社 賛助会員 12社
4. 議 事
議 案
第1号議案 令和7年度事業報告の件
第2号議案 令和7年度収支決算報告の件
第3号議案 令和8年度事業計画案承認の件
第4号議案 令和8年度収支予算案承認の件
上記の議案は原案どおり可決成立した。

令和7年度事業報告

1. 定時総会
令和7年度第63回定時総会
日 時 令和7年5月26日(月)
16:30～18:30
場 所 仙台ロイヤルパークホテル
第1号議案 令和6年度事業報告の件
第2号議案 令和6年度収支決算報告の件
第3号議案 令和7年度事業計画案承認の件
第4号議案 令和7年度収支予算案承認の件
第5号議案 役員改選の件
上記の議案は原案どおり可決成立した。
2. 役員会
第1回役員会
日 時 令和7年5月15日(月)
11:30～13:30

- 場 所 ホテルグランテラス仙台南分町
出席者 役員8名、事務局1名
議 題 (1)定時総会提出議案の審議
(2)第63回定時総会開催について
(3)その他
- 第2回役員会
日 時 令和7年9月5日(金)
11:30～13:30
場 所 ホテルグランテラス仙台南分町
出席者 役員8名、事務局1名
議 題 (1)秋季研修会の件
(2)会員動静について
(3)その他

第3回役員会

- 日 時 令和7年12月1日(月)
17:15～18:30
場 所 北の一
出席者 役員8名、事務局1名
議 題 (1)新春研修会開催の件
(2)その他

3. 秋季研修会

- 日 時 令和7年10月24日(金)
14:30～15:20
場 所 NHK仙台放送局見学及び講演会
参加者14名
講演会 三菱地所(株)会議室にて
※講演テーマ「ちょっとみらい
の駐車場」
講 師 三菱地所パークス(株) 様

4. 忘年会

日 時 令和7年12月1日(月)

18:00～20:00

場 所 北の一

参加者16名

5. 新春研修会

日 時 令和8年2月5日(水)

16:30～17:30

場 所 ANAホリデイ・イン仙台

参加者12名

※講演テーマ「バリアフリーな

まちづくり ～交通編～」

講 師 仙台市 都市整備局

総合交通政策部

交通政策課 参事兼課長

井藤 由親 様

主任 松田 一輝 様

以上

仙台駐車協会 役員名簿

令和8年5月26日現在

役 職 名	氏 名	会 社 名 等
会 長	菅 原 甚 一	株式会社千松島
副 会 長	上 田 寛	三菱地所株式会社東北支店
〃	松 坂 卓 夫	松栄不動産株式会社
〃	西 井 俊 正	株式会社ダイコク
理 事	桃 野 智 文	稲荷タクシー有限会社
〃	佐々木 光 雅	第一ビル株式会社
〃	五十嵐 善 正	株式会社シー・シー・マインド
監 事	股 野 公 祐	株式会社青葉ビル
〃	大 森 一 美	株式会社福田商会

□各地駐車協会総会報告□

福島県駐車協会 第64回定期総会

1. 期 日 令和8年6月5日(金)
17時00分から17時30分
2. 場 所 福島市大町 中華飯店精華苑
3. 出席人員 出席会員 7名
委 任 状 26名
計 33名
(会員 正会員36名 賛助会員0名 計36名)

4. 議 事

- 第1号議案 令和7年度事業報告、会計決算報告、監査報告承認の件
- 第2号議案 令和8年度事業計画(案)、会計収支予算(案)承認の件

5. その他

(1)令和7年度事業報告

【令和7年】

- 5月 9日 福島県駐車協会 理事会・監事会(中華飯店精華苑)
- 5月20日 福島地区交通安全協会 定期総会(杉妻会館)

6月10日 福島県駐車協会
第63回定期総会(中華飯店
精華苑)

6月11日 全日本駐車協会
第64回通常総会

11月 7日 全日本駐車協会
事務局長会議

(2)令和8年度事業計画(案)

【令和8年】

- 5月 福島県駐車協会 理事会・監事会
- 6月 福島県駐車協会 第64回定期総会
- 6月 全日本駐車協会 第65回通常総会
- 11月 全日本駐車協会 事務局長会議

【令和9年】

- 3月 福島県駐車協会監査準備会
- その他 福島地区交通安全協会定期総会
年間会員の増強など

以上

福島県駐車場協会 役員名簿

令和8年6月5日現在

役 職 名	氏 名	会 社 名 等
会 長	三 浦 修 一	有限会社三浦商店
副 会 長	横 田 重 一	有限会社海老屋
理 事	尾 越 建 一	株式会社帝北ロジスティックス
〃	佐 藤 和 子	有限会社佐平
〃	橋 本 善 郎	橋本地所株式会社
〃	鈴 木 正 晃	有限会社鈴伊
監 事	二 瓶 誠 志	有限会社いまり
〃	渡 邊 信 幸	株式会社エスケーコーポレーション

□各地駐車協会総会報告□

新潟駐車協会 令和8年度定時総会

1. 日 程：令和8年5月19日(火)
2. 会 場：万代シルバーホテル
3. 出席人員：議決票人員

本人出席	12名
委 任 状	6名
欠 席	3名
計	21名
会員 正 会 員	21名
賛助会員	4名
計	25名
4. 議 事

議 案	
第1号議案	令和7年度事業報告並びに収支決算報告・監査報告承認に関する件
第2号議案	令和8年度事業計画(案)並びに収支予算(案)決定に関する件
第3号議案	役員選任の件
5. 令和7年度事業報告(抜粋)

(1)令和7年11月20日研修会(講演)「新潟市のまちづくりの近況」
新潟市都市政策部都市計画課 課長 佐藤功一 氏
6. 令和8年度事業計画(抜粋)

(1)新規会員の入会促進
(2)新潟市との協調と連携
(3)新潟古町まちづくり株式会社への協力と連携
(4)古町地区提携駐車場組合への支援
(5)会員相互の情報交換、研修会の充実を図る
7. その他

総会終了後、同会場において、意見交換会を開催した。

以上

新潟駐車協会 役員名簿

令和8年5月19日現在

役 職 名	氏 名	会 社 名 等
会 長	富 山 修 一	新潟駐車場株式会社
副 会 長	大 塚 善 紀	大市繊維品株式会社
専務理事	山 崎 太	株式会社千歳
常任理事	猿 子 康 雄	新潟駐車場株式会社
理 事	金 子 英 一	新潟交通株式会社
監 事	渡 辺 勝 行	株式会社INPEXビジネスサービス
〃	高 田 享 幸	東光商事株式会社

□各地駐車協会総会報告□

埼玉駐車協会 第46回定期総会

1. 日 時 令和8年6月1日(月)
午後0時00分～午後0時30分
2. 場 所 ヴェルヴィ大宮サンパレス
3. 出席人員 議決票人員
本人出席 13名
委 任 状 2名
計 15名
会員 正会員 15名 賛助会員 5名
計20名
4. 議 案
 - 第1号議案 令和7年度 活動報告
原案通り承認
 - 第2号議案 令和7年度 会計報告
監査報告
原案通り承認
 - 第3号議案 令和8年度 活動方針
原案通り承認
 - 第4号議案 令和8年度 予算案
原案通り承認
 - 第5号議案 規約変更の件
原案通り承認
 - 第6号議案 役員変更の件
原案通り承認
 - 第7号議案 会員退会の件
原案通り承認

全議案について、出席者全員の賛成を得、原案どおり承認可決された。

5. その他
議事以外、特段なし

6. 議事のうち、主要事項

(1)令和7年度活動報告

- ①11月：埼玉駐車協会と全日本駐車協会との情報交換会
埼玉駐車協会の会員の現況報告、その他についての意見交換

②一般社団法人全日本駐車協会行事への参加

6月：総会後見学会

「大阪梅田貨物駅跡地 約9.1万㎡再開発「グラングリーン大阪」視察
大阪・関西万博：「オーストラリア館」見学、大屋根リング他視察

10月：令和7年秋季駐車場見学会

山形市を訪問：「山形市まちなか駐車場適正化計画」に伴う市街地視察

バブル以降の街の人口減と大型店の撤退に伴う市街地の空洞化に対する街の再生事業視察

3月：令和8年春季駐車場研修会

三郷インターチェンジ付近：大型物流施設「ロジクロス三郷」他の工事現場をバス内から視察
春日部市、首都圏外郭放水路防災地下神殿を見学

今後も会員ニーズの把握に努め、活動を進めていく。

(2)令和8年度活動方針

基本方針

①駐車場研修会および懇親会の開催

- ②全日本駐車協会の機関誌「PARKING」
のメールでの周知、および春秋研修会・
見学会の開催
- ③全日本駐車協会第65回通常総会および意
見交換会・見学会に参加
- ④埼玉駐車協会ホームページの運営

施 策

- ①ホームページの運営
- ②新規会員の募集
- ③駐車場利用促進のための駐車場改革推進
協議会への参加
- ④会員駐車場の実態調査

以上

埼玉駐車協会 役員名簿

令和8年6月1日現在

役 職 名	氏 名	会 社 名 等
会 長	中 村 茂	(株)マサキ管理サービス
副 会 長	小谷野 堅太郎	(株)寿屋
会 計	橋 本 直 子	(有)西橋商事
監 事	逸 見 裕 一	大宮ガレージ(株)
事務局長	嶋 村 健太郎	(株)さいたまシステム

□各地駐車協会総会報告□

千葉駐車場協会 定時総会報告

〔総会内容概要〕

総会開催日：令和8年2月27日（金）

時 間：12時～

開催場所：千葉商工会議所13階 特別会議室

出席：14社

委任状：20社

欠席：5社

計39社

会員 正会員 30社

賛助会員 8社

特別会員 1社

計39社

〔議 事〕

議案第1号 令和7度事業報告承認に関する件

議案第2号 令和7度収支決算承認に関する件
（監事による監査結果報告）

議案第3号 令和8度事業計画（案）承認に関する件

議案第4号 令和8度収支予算（案）承認に関する件

上記すべて原案どおり承認された。

〔令和7度事業報告〕

（会員の概況） 令和7年12月31日現在

会員 30駐車場

賛助会員 8社

特別会員 1社

（各種会議）

令和7年

2月28日（金）会長・副会長会議

2月28日（金）理事会・定時総会

7月11日（金）会長副会長会議・理事会

その他会議 全日本駐車協会主催

1月24日 理事会

3月 7日 春季駐車場研修会

10月16日 秋季駐車場研修会

11月 7日 事務局長会議

〔事 業〕

駐車場賠償責任保険の団体契約の継続

内 容 自動車管理者賠償責任保険及び

施設管理者賠償責任保険

保険金額 1億円

免責金額 5万円

保険期間 令和7年8月23日より1年間

宣伝広告事業

・広報誌や協会ホームページ等に会員情報や
違法駐車禁止等のPRを掲載

調査事業

・駐車場現況調査を実施

〔令和8年度事業活動の方針〕

千葉県における駐車場事業者の団体として、駐車場事業の育成と発展のための各種調査や賠償責任保険への団体加入を行い、千葉市あるいは千葉県内の警察などが実施する交通行政の運営に協力する。

さらに講習会の開催や会員駐車場の利用促

進のための広報活動などを展開し、駐車場事業の繁栄・発展を図る。

〔令和8年度事業計画〕

1. 自動車管理者・施設所有者管理者賠償責任保険の継続契約
2. 関係機関との連携について
3. 調査研究事業
4. 駐車場経営支援について
5. 新会員の加入促進について
6. その他

総会終了後に「そなエリア東京」

防災体験学習施設視察

以上

千葉駐車場協会 役員名簿

令和8年2月27日

役 職 名	氏 名	会 社 名 等
会 長	須 藤 憲 一	(株)須藤ビル
副 会 長	木 村 智 信	(株)千葉パーキングセンター
〃	谷 口 淳	(株)ロケイト
常任理事	吉 野 秀 和	海浜不動産(株)
会計理事	時 松 進一郎	和光ファーム(株)
理 事	岡 田 和 之	千葉市市民局市民自治推進部 地域安全課長
監 事	橋 本 春 樹	園石駐車場
〃	濱 田 俊 広	塚本大千葉ビル駐車場
顧 問	吉 野 毅	千葉商工会議所 専務理事
相 談 役	足 澤 知 之	千葉県警察本部交通部 交通指導課長
〃	仲 淳	千葉県警察本部 千葉市警察部総務課長

□各地駐車協会総会報告□

横浜駐車場協会 第49回 定時総会

1. 日時：2026年4月16日(木)
2. 会場：横浜市中区山下町30
ロイヤルホールヨコハマ
3. 出席者等：会員総数45社のうち出席24社、委任状15社
横浜市より来賓4名が出席

4. 議案

- 第1号議案 2025年度事業報告承認の件
第2号議案 2025年度収支決算報告承認の件
第3号議案 2026年度事業計画決定の件
第4号議案 2026年度収支予算決定の件
以上について審議を行い、原案通り承認されました。

5. 情報交換会

総会に引き続き情報交換会を実施しました。(出席者25名)

6. その他

(1)研修会

①夏期研修会

- 日時 2025年7月29日(火)
場所 横浜新都市ビル9階 ミーティングルームA
参加者 34名
内容 講演
＜第一部＞「横浜市の防災・減災対策について」
＜講師＞横浜市総務局地域防災課長 河合 良太郎 様
＜第二部＞「ちょっとミライの駐車場につ

いて」

～日頃、気になることへの対策・アイデア～

＜講師＞三菱地所パークス株式会社

増田 高明 様

②秋期研修会(施設見学会)

日時 2025年11月18日(火)

参加者 26名

内容 三菱プレシジョン株式会社クリーンルーム視察

三菱電機株式会社ショールーム視察

相模石油ダイレクトパーク視察

※各社様よりご説明いただきました。

(2)調査関係

2025年度「駐車場現況調査」：会員の皆様のご協力をいただき、4月1日現在で実施いたしました。

調査結果を『2025年度 横浜駐車場協会会員名簿』に取りまとめ、各会員に配布いたしました。

(3)事業計画

①政策活動

- ・駐車場行政・駐車場経営について関係行政機関との連携を図り、意見交換会等を実施します。
- ・一般社団法人全日本駐車協会と連携し、駐車場関係の諸課題について要望活動等を実施します。

②研修活動

- ・駐車場関係者の知識向上のため、駐車場の整備、経営、管理等に関する講演会や先進的な駐車場の視察研修会などを実施すると共に会員相互間の情報交換を推進します。
- ・一般社団法人 全日本駐車協会主催の研修会等に積極的に参加します。

③広報活動

- ・協会の活動状況、駐車場関連情報などを会員に提供するために、協会だよりを適宜発行します。
- ・会員名簿および会員駐車場の現況調査するための現況調査票のデータ集計を行い、集計表を配布します。

以上

横浜駐車場協会 役員名簿

令和8年4月16日現在

役 職 名	氏 名	会 社 名 等
会 長	永 井 京 子	横浜新都市センター株式会社
副 会 長	吉 田 泰 治	吉田興産株式会社
〃	細 野 徳 重	三菱地所株式会社横浜支店
〃	宮 代 宗 之	株式会社相鉄ビルマネジメント
理 事	小 島 泰	株式会社産業貿易センター
〃	橘 田 弘 幸	イースタン商事株式会社
〃	清 水 健 二	公益財団法人横浜市緑の協会
〃	吉 江 竜 哉	株式会社横浜スカイビル
監 事	仲 澤 克 彦	一般財団法人首都高速道路協会神奈川支所
〃	中 勇 人	横浜ダイヤビルマネジメント株式会社
アドバイザー	岡 哲 郎	横浜市道路・交通政策局 交通政策課
〃	宮 本 康 司	横浜市道路・交通政策局 施設課
事務局長	櫻 井 暁 人	横浜新都市センター株式会社

□各地駐車協会総会報告□

静岡県駐車協会 令和8年度通常総会

総会開催日：令和8年6月26日（金）

時 間：11時00分

開催場所：稲森パーキング 会議室

出席会員：5名（うち委任状提出 2名）

○定刻11時00分開会

議 事

- 第1号議案 令和7年度事業報告承認の件
- 第2号議案 令和7年度収支報告承認の件
- 第3号議案 令和8年度事業計画(案)承認の件
- 第4号議案 令和8年度収支予算(案)承認の件

[事業報告]

- ・全日本駐車協会に会員数、会員名簿等の報告を行った。
- ・地区会員に対して機関誌PARKINGおよび全日本駐車協会からの通達を随時送付した。
- ・令和7年6月11日全日本駐車協会第64回通常総会出席、翌日から関西万博他見学会に参加した。
- ・令和7年6月26日に静岡県駐車協会通常総会を開催した。
- ・令和7年10月16、17日秋季駐車場研修会(山形県生涯学習センター他)に参加した。
- ・令和7年11月7日全日本駐車協会事務局長会議に出席した。
- ・令和8年3月6日春季駐車場研修会(大手町パークビル他)に参加した。

[令和8年度事業計画概要]

1. 関係官庁と連絡を保って都市交通、駐車

対策の諸施設に関する提言、要望並びに陳情などを行う。

2. 全日本駐車協会機関誌「PARKING」年4回の閲覧により、最新のニュースや有益な統計資料及び関連業界の情報等を伝える。
3. 全日本駐車協会が定期的に実施する研修会、見学旅行に積極的に参加し見聞を広める。
4. 全日本駐車協会に対し必要事項を要請し、地区協会員の啓蒙発展に努める。
5. 地区協会相互の連絡を密にし、当地区の駐車場関係の諸問題について、その改善解決に努める。

[会員間の情報交換]

- ・各会員から業況について各々説明があり、その後、情報交換、意見交換を行った。
- ・静岡市紺屋町名店街事務局(以下事務局という)と協議している共通サービス券についての中間報告があった。

現在、事務局が各商店に配布している無料駐車券はペーパーであり、そのままでは駐車場精算機での精算ができないため、各駐車場は管理室にて自社専用の磁気無料サービス券への交換作業を実施し精算処理をしている。また、各駐車場は利用メーカーも異なることから、共通して利用ができる共通磁気無料サービス券への切り替えを事務局に提案している。一方、事務局からは、

現行方式の方が経費負担は少ないこと、各商店への共通磁気無料サービス券の販売作業等、手間は従来方式よりかかるとの認識があること、駐車場毎に料金体系が異なる中、事務局と駐車場間で柔軟な対応ができていた部分もあること等、今後も協議・検討を続ける必要があるとの報告があった。実施の有無も含め、まだまだ時間がかかる状況にある。

以上

静岡県駐車協会 役員名簿

令和8年6月26日現在

役 職 名	氏 名	会 社 名 等
会 長	稲 葉 一 匡	静岡委託商事有限会社
副 会 長	望 月 佐和子	静岡委託商事有限会社
監 事	山 本 道 香	公益財団法人静岡市まちづくり公社

□各地駐車協会総会報告□

名古屋駐車協会 第62回定時総会

1. 日時

2026年6月4日(木) 午後5時より

2. 場所

名古屋市中区錦3-18-21

東京第一ホテル錦11階「アンピオ」

3. 出席者

出席17社、委任状13社、欠席1社、合計31

社(正会員数 31社)

4. 議事

第1号議案 2025年度事業報告承認の件

○2025年度 事業報告

(1)調査活動

会員調査(2025年7月1日現在)

会員名簿(氏名、住所、駐車料金)の確認

正会員 29社31駐車場、賛助会員14社

(2)秋季研修会

日 時 2025年11月13日(木)

研修先 清水マリンパーキング

参加者 12社21名

(3)講演会

日 時 2025年12月11日(木)

14時～16時30分

場 所 名古屋市中村区名駅3丁目25-3

イオンコンパス桜通口会議室

研修内容

第1部:「トラブル激減!現場から始める
DX出口が変われば駐車場が変わる」

講 師:株式会社 日本メカトロニクス
営業部次長 堀内 智史 様

第2部:「駐車場における消火設備の使用
方法と維持管理について」

講 師:名古屋市消防局 予防部予防課
消防司令 植松 孝 様

第3部:「駐車場検索サイト・アプリの現
状把握と今後の駐車場決済アプ
リ導入に関する検討」

講 師:株式会社 シード

営業責任者 花原 慎一郎 様

ご来賓 名古屋市住宅都市局交通企画課
課長 後藤 千絵 様

参加者 24社44名

第2号議案 2025年度収支決算承認の件

第3号議案 2026年度事業計画承認の件

○2026年度事業計画(案)

1. 会員駐車場の利用促進に有効な諸施策が講じられるよう、各機関の主催する協議会、委員会等に積極的に参加するとともに、必要な関係機関に要請を行なう。
2. 交通サービスが大きな変革を迎えようとしているため、様々な団体と情報交換を行い、新しい駐車場の在り方を研究する。
3. 新しい駐車場案内システムの仕組みを構築するため、関係機関と連絡を密にし、検討作業を進める。
4. 会員各社の参考に資するため、会員駐車場の実態調査を行う。
5. 規約第4条の事業目的達成のため、

- 研修および懇親会を開催する。

6. 協会未加入の駐車場および関係者の加入を勧奨し、協会組織の拡大と充実強化を図る。

7. 総会及び理事会を開催し、必要に応じて常任理事会を開催する。

○2026年度事業活動(案)

1. 理事会

 - ・2026年4月23日(木) 第1回理事会
 - ・2026年9月中旬 第2回理事会

2. 研修会および懇親会

 - ・2026年6月4日(木) 総会懇親会
 - ・2026年11月上旬 実務担当者連絡会
 - ・2026年12月中旬 講演会
- ・2027年1月上旬 新年懇親会

3. 調査活動

 - ・2026年7月 2026年度会員調査(会員名簿の確認)

4. 関係官庁の推進する施策への協力

5. 全日本駐車協会会合等への参加

第4号議案 2026年度収支予算承認の件

第5号議案 任期満了に伴う役員改選の件

上記5議案が上程され、原案通り承認、可決された。

5. 総会後の懇親会

総会終了後、同会場にて

参加人数 44名
- 以上

名古屋駐車協会 役員名簿

令和8年6月4日現在

役 職 名	氏 名	会 社 名 等
会 長	祖父江 茂 樹	株式会社東海放送会館
副 会 長	古 橋 明	株式会社ユニモール
〃	依 田 耕 治	株式会社エスカ
〃	伊 藤 貴 宣	株式会社セントラルパーク
〃	塩 谷 剛 史	株式会社エンゼルパーク
常任理事	高 山 直 明	公益財団法人 名古屋まちづくり公社
〃	富 田 恭 次	中部日本ビルディング株式会社
〃	大 竹 敬 一	株式会社大竹製作所
〃	茅 野 静 仁	三菱地所株式会社 中部支店
〃	堀 内 隆 史	堀内不動産株式会社
〃	早 瀬 三喜男	株式会社東海放送会館
理 事	安 藤 東 元	中央市場総合食品センター株式会社
〃	稲 葉 尚 子	株式会社シグナル
監 事	矢 野 克 典	若宮大通駐車場株式会社
〃	伊 藤 陽 子	株式会社C B C ビップス

□各地駐車協会総会報告□

兵庫県駐車場協会連合会 第61回定期総会

1 第61回定期総会の開催

日 時 令和8年5月27日(水)

場 所 神戸市教育会館 404号会議室

会員数 10協会出席 3協会委任状提出

2 議案

(1)審議事項

第1号議案 令和7年度事業報告について

第2号議案 令和7年度収支決算報告について

第3号議案 令和8年度事業計画(案)について

第4号議案 令和8年度収支予算(案)について

第5号議案 令和8年度会費割当(案)について

第6号議案 役員の改選について

第1号議案から第6号議案まで全会一致、承認可決。

(2)連絡事項

「パーキング」のWeb配信の再度確認

3 事業関係

(1)兵庫県駐車場協会機関誌「パーキングニュース」の発行

(2)駐車場経営セミナーの開催

日時 令和8年1月30日

場所 神戸市教育会館

内容 「相続の基礎知識・円滑な承継のための生前対策」と題して講演が行われた。

4 各種安全運動への取り組み

春、夏、秋、年末のそれぞれの運動において、実施要綱等を策定。

5 会議関係

ひょうご地域安全まちづくり推進協議会などに出席参加。

兵庫県駐車場協会連合会 役員名簿

令和8年5月27日現在

役 職 名	氏 名	会 社 名 等
会 長	宮 浦 栄太郎	宮浦商事株式会社
副 会 長	藤 岡 義 己	株式会社イーエスプランニング
理 事	江 藤 和 夫	綱敷天満神社
〃	森 本 泰 暢	三宮ビル管理株式会社
〃	岡 本 良 文	岡本材木店株式会社
〃	藤 田 和 昭	株式会社ゴヘイ
〃	吉 本 良 秀	農業
〃	木 戸 晃 洋	株式会社スター商会
〃	前 北 隆 幸	有限会社マエキタ不動産
〃	滝 内 秀 明	伸和商事株式会社
〃	岡 田 重 夫	(有)ワールド・コーポレーション
〃	中 田 吉 和	農業
専務理事	植 波 博 文	一般社団法人兵庫県自家用自動車協会連合会
常務理事	阿 部 雅 行	一般社団法人兵庫県自家用自動車協会連合会
監 事	堂 内 克 孝	有限会社平興産
〃	近 澤 撃	税理士

☐各地駐車協会総会報告☐

岡山駐車協会 令和8年度(第56回)通常総会

①日時：令和8年6月12日18時30分～

②場所：岡山市北区内山下1-8-2 真金堂

③出席人数：会員 14名(14団体)
(会員12団体+賛助会員2団体=計14団体)

④議事 議案

第1号議案 令和7年度事業報告承認の件

第2号議案 令和7年度収支決算承認及び監査
報告の件

第3号議案 令和8年度事業計画(案)承認の件

第4号議案 令和8年度収支予算(案)承認の件

第5号議案 令和8年度役員変更について

第6号議案 会費改定について

以上が承認されました。

⑤懇談会

総会後の懇談会では、参加会員の近況報告や
木下興産(株)の関係企業である木下サーカス
岡山公演のPRがあり、和やかな雰囲気の中、
いろいろな意見交換が行われました。

以上

岡山駐車協会 役員名簿

令和8年6月12日現在

役 職 名	氏 名	会 社 名 等
会 長	藤 井 一 也	有限会社エフ・プラン(弓之町パーキング)
副 会 長	田 中 礼一郎	株式会社C V E C (中外駐車場)
理 事	能登原 孝 治	株式会社まつもとコーポレーション(ザ・サードパーキング)
理 事	小 野 大 輔	岡崎共同株式会社(やわらぎパーキング幸町)
監 査	岩 井 建次朗	株式会社セフティパーキング(天満屋駐車場)

□各地駐車協会総会報告□

福岡駐車協会 第68回定例総会

1. 日 時：令和8年7月7日(火)
午後5時00分より午後6時00分

2. 場 所：福岡市中央区天神1丁目
ソラリア西鉄ホテル 8階「花」

3. 出席人員：議決票人員
本人出席 27名
委 任 状 0名
欠 席 4名
計 31名
会員 正会員 23社 賛助会員 8社
計 31社

4. 議 事
議 案
第1号議案 令和7年度事業概況報告承認
の件
第2号議案 令和7年度収支決算報告承認
の件
第3号議案 令和8年度事業計画審議承認
の件
第4号議案 令和8年度収支予算審議承認
の件

務局長会議及び研修会・懇親会活動
第64回通常総会

第1回理事会

第2回理事会

第3回理事会

令和7年度事務局長会議

第64回通常総会後の研修会

令和7年事務局長会議研修会

令和7年秋季駐車場研修会

令和8年新春駐車場研修会

令和8年春季駐車場研修会

企画委員会

総務委員会

(3)政策・業界関連活動

令和7年福岡県飲酒運転撲滅連絡会議

令和7年福岡県交通安全県民大会

令和7年度福岡県飲酒運転撲滅県民大会

令和7年福岡県自動車盗難等防止対策協議
会

(4)広告活動

全日本駐車協会機関紙「PARKING」に広
告掲載

[令和7年度事業概況報告]

(1)「福岡駐車協会主催」総会・理事会・懇親
会活動
福岡駐車協会「第67回 定例総会」、総会
後に福岡県警察本部による「駐車場内の防
犯対策」についての講演会を開催
福岡駐車協会「役員会」

(2)「全日本駐車協会主催」総会・理事会・事

[令和8年度事業計画]

(1)福岡県・福岡市・福岡県警の関係官庁と継
続的な情報交換を行い、行政側の交通政策
における駐車対策に対し、福岡駐車協会の
駐車場実情を反映したものになるよう意見
具申する。

(2)福岡県飲酒運転撲滅連絡会議へ協議委員と

して参画、飲酒運転撲滅ポスターを掲示し、飲酒運転の意識啓発を図る。

- (3)福岡県自動車盗難等防止対策協議会への参画、「自動車盗難実績調査」結果を会員に提供し、情報・知識の共有化を図る。警察本部・管轄署と定期的に情報交換を行う。自動車盗難防止ポスター掲示、意識啓発を図る。
- (4)駐車協会加入による会員メリットを理解してもらい会員の拡充を図る。
- (5)全日本駐車協会との連絡を密にし、国の駐車場政策の情報等を迅速に把握することに努める。全日本駐車協会企画の研修会・講習会・見学会等に参加協力、会員相互の情報交換・交流を図る。

以上

福岡駐車協会 役員名簿

令和8年7月7日現在

役 職 名	氏 名	会 社 名 等
会 長	戸 嶋 和 夫	中央地所株式会社
副 会 長	内 田 秀 人	株式会社八百治
理 事	渡 邊 興 之	紙与産業株式会社
〃	高 松 健 司	西鉄ビルマネジメント株式会社
〃	新 開 久 子	大石ゴム株式会社
〃	半 田 邦 子	株式会社サンマルサン
監 事	古 江 寿 則	アリウエル株式会社
〃	林 舜 人	林英株式会社



駐車場コラム



■ XXX(トリプルエックス)による駐車場まちづくり

－そのココロは、「Park & X × X -minute city」－

筑波大学 名誉教授 谷口 守

いきなり何を言い出すのか、というタイトルですみません。同一の英3文字XXXということで、交通分野の話として、AAA(American Automobile Association：米国における日本のJAFに相当するような組織、在住時にはよく道路地図をもらっていました)の親戚のような組織か、はたまた駐車場の新たな格付けか？と思われた方もおられるかも知れません。そのようなお話とは全く違い、本コラムの執筆機会をいただき、ふと研究室で取り組んできた2つの異なるテーマである「Park & X」と「X-minute city」を掛け合わせれば、今後の駐車場マネジメント政策の一つの道筋になり得るのではないか、とひらめいた？次第です。そしてそれをどう表現すれば伝わりやすいのかと思案した結果の、本稿初公開の拙いキャッチフレーズです。

人口減少が進む中、コンパクト・プラス・ネットワークの推進は極めて重要な政策ですが、公共交通のサービスレベルが低い地域や都市は当然のことながら自動車にしか頼れないため、自動車を前提とした街づくりも避けては通れません。そのような都市において、「駐車場を街中にどれだけどう配置するか」ということと、「その周辺空間をどう整備し、都市機能を配置するか」ということは、個別の課題としては今までも着目されてきました。このうち前者の概念がPark & Xに、後者の概念がX-minute cityに、以下に整理するようにそれぞれに近い内容を含んでいます。一方で、駐車場利用者の目線に立つと、その両者の掛け合わせを通じること、様々な活動の機会が広がるとともに、その地区にとっても駐車場の存在が一層有効に機能することになります。

Park & X：都市の中心に位置するまとまった収容台数の多い大きな駐車場に車を止め、周囲で様々な都市活動(X)を展開することを意味します。そのような駐車場の必要条件として、多様な活動(X)にアクセスできる都心に位置し、必ず空いていること、止めやすいこと、長時間停めても負担にならないことが期待されます¹⁾。都市活性化の観点から、その駐車場から周囲の都市空間への人の動きを前提とするもので、その意味で大型ショッピングセンターや道の駅など閉じた空間を前提とする駐車場はここでは除外して考えます。

X-minute city：コロナ禍中に自宅でのテレワークが普及したことにより広がった概念で、生活拠点からX分以内のところで自動車に乗らなくとも基本的な生活が歩いてできるような地区のこと。パリ市で提唱された15分都市が発祥と言われ、現在、世界各都市で多少Xの数値は異

なりますが、この概念に基づく政策が導入されています。なお、一般的にはこの生活拠点自宅と想定されていますが、本稿ではそうではなく、先述した都心の大きな駐車場を拠点として想定しています。生活に必要な都市機能や魅力的な施設がコンパクトに駐車場周辺の歩いていける範囲にまとまり、あわせてその地区が面的に歩きやすいウォーカブルな空間整備がされていることが期待されることです。

なお、この両概念を別々に考えるのではなく、どのようにすればもう一方の概念の特長をさらに引き出せるのか、つまり両者のかけ合わせ(×)が非常に大切になります。駐車場利用者が自らの意思で街中を出歩くようになり、周囲の地区での様々な活動がさらに新たな活動を生み、総滞在が増えていくことで街自体の黒字化も期待されましょう。Park & Xが展開できるだけの十分な駐車場の整備や、ウォーカブルな空間の整備はそれぞれにコストも要する取り組みですが、かけ合わせによって効果が大きくなることで、それぞれの整備のしやすさも向上するものと考えられます。

実際のところ、わが国では小規模な駐車場が都市内に分散している場合が少なくありません。また、個別の店舗に付随する形で駐車場を保有する幹線道路沿いの商業施設や大型ショッピングセンターも、それぞれに駐車場利用者を囲い込む形になっており、街中に歩行者として誘導する機能は極めて弱いといえます。ちなみに、わが国の都市居住者が実際に何分以内に目的地に到達しているかについて、パーソントリップ調査を用いることで空間的に解析してみたところ、東京大都市圏では郊外になるほど15分以内で通勤や買い物行動を行えていることが明らかに became²⁾。ただし、これはパリ市が目的にしているような徒歩での移動ではなく、自動車の移動によるものです。換言すると、日本人は自動車による「店使い」は日常的に行っている(させられているという方が適切か)のですが、これが「街使い」となると、相対的に意識が低く、個別に駐車場を持つ各店舗や商業施設に囲い込まれた暮らしを行っていることに気づく必要があります。

さらに、海外の事例として参考になるケースは、英国の一部の小都市などでは高速道路のインターチェンジを降りると、道標にtown centerはこちらという表記があり、その表記をたどっていくと自然と都心の大規模駐車場に吸い込まれます。そして車を停めた後は、ゆっくりと街中で様々な活動を行うことが可能となっています。また、日本のケースとして筆者の住んでいるつくば市の中心市街地では、一般財団法人つくば都市交通センターによって7つのまとまった駐車場に合計およそ3,800台分の駐車スペースが準備されており、駐車場探しで道路をぐるぐると回ってしまうということがありません。計画的市街地としてつくば市中心部が整備されたことにあわせ、集約型の駐車場がしっかりと計画的に準備された数少ない日本の都市であるといえます。また、1990年以降現在に至るまで、これら駐車場利用の実態や利用者の意識等に対して調査を行ったレポートがシリーズとして提供されており³⁾、XXXによる駐車場まちづくりを進める上で大変参考になります。

- 1)たとえば、室岡太一・堀川倖・谷口守：P&X (Park & X) の実現に向けたペルソナの推定、－集約型駐車場利用者の行動を考える－、土木計画学研究・講演集、Vol.73、2026.
- 2)たとえば、清水宏樹・室岡太一・谷口守：東京都市圏における15-minute city の実現実態、－生活サービス拠点としての都市機能誘導区域の可能性－、都市計画論文集、No.57-3、pp.592-598、2022.
- 3)一般財団法人つくば都市交通センター：TUTCライブラリー、No.1～52、1990～、
<https://www.tutcr.or.jp/company/library/>

情報発信「アンテナ」(第28回)

「ヨーロッパ駐車場アワードから読み解く、 駐車場を取り巻くトレンド Vol.1」

モビリス・コンサルティング株式会社 代表取締役 木村 直子

現代の駐車場は、コンパクトシティ、ウォークابل、デジタル化などがキーワードになっています。これらの傾向が顕著に見られる「ヨーロッパ駐車場アワード2025」で受賞した駐車場やシステムの事例を2回にわたり、紹介します。

1. 駐車場を取り巻くトレンド

ウォークアブルの思想の原点となるのはJane Jacobs(ジェイン・ジェイコブズ、1961年)、実践・理論化した人はJan Gehl(ヤン・ゲール、1970年代)、そして「Walkable City」を国際的に提唱したJeff Speck(ジェフ・スペック、2012年)という流れとなり、少子化、人口減少の中、駐車場計画や交通計画分野において、国土交通省や行政が主導するウォークアブル政策は「駐車場削減」ではなく、「駐車場と歩行環境をどう共存させるか」という考え方が主流となっています。

また、モビリティ分野がかつてない変化を迎える中、駐車場業界は基盤であると同時に革新を生み出す存在となっています。

今日の駐車場は単なる「車を停める場所」ではなく、都市の中で能動的かつダイナミックな役割を果たす施設に変換しつつあります。

デジタル化の進展により、シームレスな入出庫、キャッシュレス決済、利用者向けアプリ、リアルタイム満空情報、EV充電サービスなどが実装され、駐車体験も大きく変わりました。

欧州各都市では、サステイナブル(持続可能)、交通流の改善、CO₂排出削減、公共空間の創出が求められており、スマートパーキングはその中心的な役割を担っています。また、多くの新しい駐車場は、公共交通、シェアモビリティ、マイクロモビリティを接続するモビリティハブへと進化しています。

2. ヨーロッパ駐車協会 European Parking Associationの受賞駐車場に見られる潮流

(1) European Parking Award と2025の受賞駐車場について

ヨーロッパ駐車協会(本部：ベルギー、ブリュッセル)では、2年に1回、ヨーロッパの駐車場運営会社や機器、システムベンダー等の会員が集まる「カンファレンス&展示会」を実施しており、その中で、「ヨーロッパ駐車場アワード」として、駐車場の先進的な事例を発表しています。

この駐車協会には、ヨーロッパ20か国(アイルランド、イギリス、イタリア、オランダ、

オーストリア、クロアチア、スイス、スウェーデン、スペイン、スロバキア、セルビア、チェコ、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、フィンランド、ブルガリア、ベルギー、フランス、ポーランド)の団体が加入しており、各国の協会に駐車場運営者や機器、システムベンダーなどが加入しています。



ヨーロッパ駐車協会参加団体(ヨーロッパ各国の駐車協会20団体)

また、コーポレートメンバーとして、運営会社や多くの駐車機器ベンダーが加入しています。



コーポレートメンバー(駐車場運営会社)

ヨーロッパの駐車場は、中心市街地の広場下を活用した地下駐車場や立体駐車場など集約された駐車場が多く、国土が狭い日本の駐車場に近い事例が多くあります。

昨今は、ハード面の改修に加え、先進的なシステム、アプリケーションの導入事例等、バランス良く受賞者が選定されているため、駐車場に関する国際的なトレンドも垣間見えて、参考になる点が多いのではないかと考えています。

2025年は、54駐車場のエントリーがあり、8つの分野ごとにベストパーキングが選定されました。本稿では、ベストパーキングに加え、各分野のファイナリストの中から国内駐車場で参考になりそうな事例をピックアップして紹介します。

(2) カテゴリー1：新しい駐車場施設

新設駐車場の分野におけるベストパーキング賞および、ファイナリストに共通するキーワードは、サステイナブルと交通結節点です。駐車場施設が世界遺産に登録された立地で計画された事例、立体駐車場の構造体が木造とコンクリートのハイブリッド構造な事例、既存平面駐車場を公園化し駐車場を地下化した事例の3つがファイナリストとして選定され、その中ではじめに紹介するイタリア、世界遺産のベルガモ旧市街地で計画された駐車場がベストパーキング賞を受賞しました。

①チッタ・アルタ駐車場・イタリア・スパ/イタリア、ベルガモ(2025年ベストパーキング賞受賞)

■革新的な都市モビリティのモデル

駐車場マネジメントの進化は、公共空間を最適化し、交通渋滞を緩和、都市を大きく変革できる可能性を示してきました。インテリジェントな駐車システムは、住みやすい都市を実現するための重要な要素となっています。

このビジョンを象徴する事例が、2017年にユネスコ世界遺産に登録されたベルガモ旧市街「チッタ・アルタ」で実現しました。

2023年にベルガモが「イタリア文化首都」に選定されて以降、観光客や来訪者は大幅に増加しました。そのような背景の中で、新たに整備されたチッタ・アルタ駐車場は、都市にとって負担となる施設ではなく、都市交通ネットワークを支える戦略的資産として位置付けられています。



チッタ・アルタ駐車場入口

■歴史的環境における革新的な土木技術

本プロジェクトは、技術的にも都市計画的にも非常に複雑な立地条件の中で進められました。工事による影響を最小限に抑え、歴史的景観を保全するため高度な土木・建設技術が採用されました。

掘削土砂の搬出には専用のケーブル搬送システムが導入され、ベルガモのユネスコ世界遺産城壁にある象徴的な門の一つである「ポルタ・サン・タゴスティーノ」は大型工事車両の通行無しで工事を進めることが出来ました。

また、斜面の安定性を確保するため、高さ40mの擁壁、800本の調整可能な鋼製アンカーを設置しました。

これら機器は工事中だけでなく完成後もリアルタイムで監視されており、構造物の損傷リスクを大幅に低減するとともに、周辺建築物の安全確保にも貢献しています。



チッタ・アルタ駐車場内



工事中



チッタ・アルタ駐車場 断面図

■環境配慮と景観との融合

本計画では環境への配慮が設計の中心に据えられました。丘陵地の自然地形に沿った段状(テラス状)の構造を採用することで、景観への影響を最小限に抑え、周辺環境と自然に調和しています。

さらに、高度な雨水排水システムを導入し、持続可能な水資源管理を実現しています。また、傾斜面には緑化を施し、本来存在していた植生を復元しました。これにより都市の森が形成され、空気質の改善、生物多様性の向上に寄与しています。

施設全体は再生可能エネルギーのみで運営されており、省エネルギー型LED照明、EV急速充電設備を備え、脱炭素社会への貢献を明確に打ち出しています。

■アクセシブルで多様な交通手段を結ぶモビリティ拠点

チッタ・アルタは単なる駐車場ではありません。自動車利用者と歩行者空間、さらには公共交通機関を結ぶ戦略的なインターモーダル・ハブ(交通結節点：異なる輸送手段 - 鉄道、トラック、船舶、航空機などを統合して貨物を効率的に移動させるための拠点)として機能しています。

施設には、エレベーター、再整備された歴史的トンネル(旧防空壕を含む)が設置されており、利用者は快適かつ安全に歴史地区へアクセスできます。

また、植栽された遊歩道や歩行者ルートからアクセスできる展望テラスも整備されています。ここからはベルガモ市街地と周囲の丘陵地帯を一望でき、現代的なインフラと歴史

遺産が融合した魅力的な公共空間を創出しています。

■公平でスマートな駐車場運営モデル

歴史都市に共通する課題の一つは、「住民と観光客双方のニーズをどのように調和させるか」という点です。本施設では駐車スペースを公平に配分することで、路上駐車への依存を軽減、地域コミュニティにとって重要な公共空間の保全を実現しています。

さらにスマート技術を活用し、リアルタイム空車情報、車両流動状況を監視しています。これにより、車両がLTZ(Limited Traffic Zone、交通規制区域)へ進入する前に交通量をコントロールすることが可能となり、交通流の改善、渋滞の緩和、排出ガス削減につながっています。

■まとめ

チッタ・アルタ駐車場は、「歴史都市が現代の都市課題にどのように対応すべきか」を示す未来へのモデルケースです。この施設は、都心部への自家用車流入削減、都市物流との統合、生活の質の向上といった長期的目標を支援すると同時に、貴重な歴史遺産、景観資源を守る役割も担っています。

ベルガモ市は、優れた土木技術、環境への責任、緻密な都市計画を融合させることで、他の歴史都市にも応用可能なモデルを創り上げました。このプロジェクトは、歴史と未来を両立させながら持続可能な都市モビリティを実現するための優れた先進事例といえるでしょう。

② Interparking アルマニャック サン・ジャン/フランス、ボルドー

■現代的な都市型駐車場ソリューション

ボルドー市サン・ジャン地区に位置する駐車場で、大規模都市再開発プロジェクト「ユーロアトランティック」の一環として整備されました。本施設は、深刻な駐車場不足の解消に貢献するとともに、持続可能なモビリティの推進と先進的な都市計画の実現をサポートしています。



Interparking アルマニャック サン・ジャン外観



入口



設計事務所によるパース：492台収容の立体駐車場は木造構造で建設されており、地域で共同利用される。スプリンクラー設備完備。使用材料の66%はヨーロッパ産。

■戦略的な立地と優れた交通アクセス

本駐車場の周辺は路上駐車スペースが少ない地域で、住宅居住者、ビジネス利用者、旅行者、来街者など幅広い利用者に駐車サービスを提供しています。ターミナル駅であるサン・ジャン駅近くに位置し、公共交通機関へのアクセスも非常に優れ、トラムC線・D線の停留所まで徒歩約10分の立地にあります。ワイン博物館、ガロンヌ川沿いエリア、サン・ミッシェル地区などの人気スポットへ容易にアクセスすることができます。

■革新的な設計と建設技術

設計は、仏設計事務所Cosa Colboc Sachet Architectureが担当、外観は伝統的なデザインを採用、内部構造には革新的な技術を取り入れています。

フランスで最も高層の木造立体駐車場であり、木材とコンクリートを組み合わせたハイブリッド構造を採用しています。欧州でも先駆的な事例の一つと言え、環境負荷の低減にも寄与しています。

さらに、床構造は一般的な駐車場基準を上回る強度で設計されており、将来的にはオフィス用途へ転用できるよう配慮されています。これにより、長期的な柔軟性と資産価値の維持が可能となっています。

■持続可能性を中核に据えた施設

本プロジェクトでは環境への配慮が最優先事項として位置付けられています。主な取り組みとして、木造・コンクリートのハイブリッド構造、水性・無薬品の床塗料、自然換気システム、廃棄物分別システムを導入し、環境負荷の最小化を図っています。また、人感センサー付きLED照明を採用することで電力消費量を削減しています。

さらにサステナブルな交通手段の利用促進のため、EV充電設備99基(全収容台数の20

%に相当)を整備(内3基は障害者専用区画に設置)しており、低炭素モビリティへの移行に配慮しています。



木材とコンクリートの
ハイブリッド構造

EV充電器

フロアサイン

■アクセシビリティと安全性

本駐車場は、誰もが利用しやすく安全に利用できる施設として設計されています。施設内には、歩行者通路、横断歩道が明確に区分され、障害者専用駐車スペースが整備されています。

エレベーター操作ボタンは車椅子利用者が操作しやすい位置にも設置、点字案内を備えるなど、視覚障害者や車椅子利用者への配慮も行われています。

安全対策として、CCTVカメラ64台による監視システム、24時間対応インターホンサポート、営業時間中は常駐スタッフを配置しています。また、夜間用金属シャッター、高度な火災監視システムを導入し、防犯・防災体制を強化しています。

■スマートサービスと優れた利用者体験

最新技術の導入により、利用者の利便性を大幅に向上させています。ナンバープレート認識システム(ANPR)により、自動入出庫が可能となっており、クレジットカード、モバイルアプリPcard+ (駐車場運営会社Interparkingのアプリ)など多様な決済方法に対応し、スムーズでストレスのない駐車体験を実現しています。また、オンライン予約、リピーター向け割引制度も提供されています。

施設レイアウトについては、広いスロープ、ゆとりある駐車区画を採用し、車両の円滑な流動を実現しています。清掃面では、電動スクラバーを使用した週次の清掃を実施し、高い清潔性を維持しています。

■まとめ

本駐車場は、単なる駐車場を超えた、持続可能な都市交通を支える先進的なモビリティインフラです。

環境に配慮した設計、将来の用途変更にも対応可能な柔軟な構造、利用者中心のサービスを兼ね備え、ボルドー市の都市発展において重要な役割を果たしています。

現在のニーズに応えるだけでなく、将来の成長にも対応できる施設として、クリーンで、スマートで、アクセシブルな駐車体験を提供しています。

③ Q-Park アントワープ・ズイデルドッケン/ベルギー、アントワープ

■「グレーからグリーンへ」― 駐車場から都市公園への転換

アントワープ市中心部の南側に位置する「ザイト地区」では、近年、ズイデルドッケン都市再生プロジェクトが完成しました。かつてこの場所には、2,000台以上を収容する広大な平面駐車場が広がっていました。しかし現在では、最新鋭の地下駐車場2施設を備えた、多機能な都市公園へと生まれ変わっています。このプロジェクトは、持続可能で先進的なモビリティインフラを整備しながら、市民のために都市空間を取り戻そうとするアントワープ市の強い意志を象徴するものです。



駐車場全景



地上部公園化、地下駐車場化前

■アスファルト駐車場から都市公園へ

ズイデルドッケン再開発において、アントワープ市が掲げたビジョンは非常に大胆なものでした。

それは、「グレー(アスファルト)をグリーン(緑地)へ変える」というものです。地上の駐車場を撤去し、ニューヨークのセントラルパークにも匹敵する大規模な都市公園を創出することが目標でした。この構想は、アントワープ市、駐車場運営会社Q-Park、ベルギーの設計事務所Abscis Architectsの協力によって実現されました。

現在では市民や来訪者が、美しく整備された庭園、子ども向け遊び場、スポーツ施設、イベント広場を楽しめるようになっています。これらの施設は、地下に整備された2つの駐車施設、Steendok駐車場、Kooldok駐車場の上部空間に設置されています。

■持続可能性とモビリティの統合

この再開発の中心にあるのは「サステナブル(持続可能)」です。敷地内には高度な水

循環システムが導入されており、地下駐車場から集めた雨水を地上の公園や庭園の灌漑に利用しています。このグリーンインフラによって、生物多様性の向上、ヒートアイランド現象の抑制、居住環境の改善が実現されています。

■地下駐車場規模：

自動車駐車場： 1,996台

自転車駐車場： 303台（うちシェアサイクル20台）

EV充電器： 126基

が整備されています。



地下駐車場入口



地下駐車場歩行者入口

■スマートパーキング

運営にはPaSS(Q-ParkのアプリParking as a Smart Service)プラットフォームが採用されています。自動車利用者、ANPR(ナンバープレート認識)による車の入出庫管理、QRコードによる歩行者のアクセス管理を実施しています。さらに、PaSSビジネスポータルを利用することで、企業ユーザは社員や来訪者の駐車権限をオンラインで管理できます。観光客からビジネス利用者まで、幅広い利用者に対応した仕組みとなっています。



地下駐車場内

■歴史とアイデンティティの継承

ズイデルドッケン地区は、アントワープの歴史において重要な意味を持つ場所です。この場所にはもともと、16世紀の要塞やその後の港湾ドック群が存在していました。20世紀になると埋め立てが行われ、駐車場として利用されるようになりました。今回の再開発では、その歴史的価値を尊重した設計が進められています。

特に注目すべき点は、かつてのドック壁面を地下駐車場の構造物として保存したことです。地下1階では、駐車場全体にわたって当時のドック壁を見ることができます。

また、サイン計画、内装デザインにも歴史的モチーフが取り入れられています。これにより、アントワープの歴史的遺産を称えながら、現代の利用者ニーズにも応える空間となっています。都市の過去と未来をつなぐ象徴的なプロジェクトといえるでしょう。

■戦略的な都市計画

このプロジェクトでは、一つの巨大な駐車場を建設するのではなく、Steendok駐車場、Kooldok駐車場という2つの地下駐車場を段階的に整備しました。これにより、工事期間中の影響を最小化、交通流の分散を実現しています。また、出入口は周辺交差点の交通管制システムと連携しており、渋滞の抑制、円滑な交通流に貢献しています。

■ESPA (European Standard Parking Award) GOLD認証取得

本駐車場は、ESPA GOLD認証を取得しています。これは、機能性、安全性、デザイン性において優れた駐車場であることを示す欧州駐車場の高評価認証です。このプロジェクトは、「地下モビリティインフラと公共空間が共存できることを示した模範事例」として高く評価されています。

■まとめ

アントワープ・ズイデルドッケン・プロジェクトは、モビリティ、地域コミュニティ、環境持続性を同時に実現しながら、都市空間を市民へ返還する方法を示しています。これは、自動車中心の都市空間から、包摂的な都市、緑豊かな都市、未来志向の都市へと転換しようとする世界中の都市にとって参考となるモデルです。

(次号に続く)

駐車場から日本を変える

料金精算システム・工場入退システム・車路管制システムなど

お客様に最適なパーキングシステム

ソリューションをご提案します

For Motorcycle & Bicycles
駐輪場向けサービス

自転車・バイク用駐輪システム

Parking Solution

駐車場ソリューション

- ゲート式駐車場システム
- 車番チケットレスシステム
- 駐車場Web決済システム
- ETC多目的利用システム
- 車両用セキュリティゲートシステム
- コインパーキング向けシステム
- 車路管制システム
- 在車感知センサー
- AUTOSTAND ーデジタル入庫制御ー

※AUTOSTANDは林テレンプ(株)の登録商標です

Others

その他のサービス

- 解けれモ ー遠赤外線融雪装置ー
- ドライビングシミュレータ事業

FDC 株式会社富士ダイナミクス

●本社 / 中目黒サービスセンター

〒153-0042 東京都目黒区青葉台1-28-9
TEL(代表):03-3793-5411
TEL(中目黒サービスセンター):03-3793-5416

●営業本部 (パーキング営業統括部 / パーキングシステムソリューション部)

〒153-0043 東京都目黒区東山1-4-4 目黒東山ビル4F
TEL:03-3793-7411

●西日本営業所 (パーキングシステム営業 / ドライビングシミュレータ)

〒533-0033 大阪府大阪市東淀川区東中島2-9-15
TEL:06-6325-2761

●西日本営業所 福岡営業部 (パーキングシステム営業)

〒812-0035 福岡県福岡市博多区中呉服町3-10 勝治呉服町ビル
TEL:092-282-3491

●仙台営業所 (パーキングシステム営業 / 機械式駐車場設備)

〒982-0032 宮城県仙台市太白区富沢1-11-21
TEL:022-244-5461

●名古屋営業所 (パーキングシステム営業)

〒467-0868 愛知県名古屋市中区瑞穂区大宮新町1-2-6 ロイヤル牛巻第12階
TEL:052-883-0700

●湘南事業所 (ドライビングシミュレータ) / 保守技術部 湘南サービスセンター

〒247-0066 神奈川県鎌倉市山崎662-2
TEL(代表):0467-45-6867
TEL(湘南サービスセンター):0467-47-8901

●横浜サービスセンター

〒220-8129 神奈川県横浜西区みなとみらい2-2-1
横浜ランドマークタワー 29階
TEL:045-224-2256

●丸の内サービスセンター

〒100-6806 東京都千代田区大手町1-3-1「JAビル」6階
608区
TEL:03-3287-0594

●羽田サービスセンター

〒144-0041 東京都大田区羽田空港3-3-2 東京国際空港
第1旅客ターミナルビル 三菱プレジジョン株式会社 内
TEL:03-5756-7245

●東京ベイサービスオフィス

〒279-0012 千葉県浦安市入船一丁目5番2号 プライムタワー新浦安
515号室
TEL:047-313-9800

●相模原サービスセンター

〒252-0232 神奈川県相模原市中央区矢部1-3-14 大河原ビル
201号室
TEL:042-730-6611

●さいたま出張所

〒330-0062 埼玉県さいたま市浦和区仲町1-9-1
浦和パーキングセンター内4F

<https://www.fuji-dynamics.co.jp/>

これからの都市パーキングに、 三菱プレジジョン。



ロック板システム

小スペースでの駐車場運営に最適なシステムです。
規模に合わせたシステムをご用意します。



DSRC システム

駐車場出入口上に専用のアンテナを設置し、登録済みの DSRC 車載器搭載車両がくると自動でゲートが開きます。



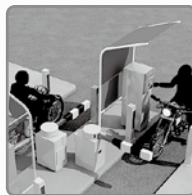
車番認識システム

駐車場出入口に設置したカメラでナンバープレート内の情報を記録。情報は文字データとして PC 管理できます。



駐輪システム

自転車・バイク両方の駐輪システムをラインナップ。
車両をロックやチェーンで個別に管理して 1 台の精算機で集中管理するシステムと、出入口をゲートで管理する 2 種類のシステムをご用意。
駐輪場の規模や立地環境に合わせたシステム構成をご提案します。



*駐車場の運営管理についても私たちにご相談ください。

創造と信頼で未来をひらく
三菱プレジジョン株式会社

本社・営業本部

〒108-0075 東京都港区港南1-6-41

芝浦クリスタル品川8階

<https://www.mpcnet.co.jp>

お問合せ先

駐車場システム営業部 ☎03-6712-1732

中部支社 052-961-3557

静岡営業所 054-204-4505

関西支社 06-6484-7206

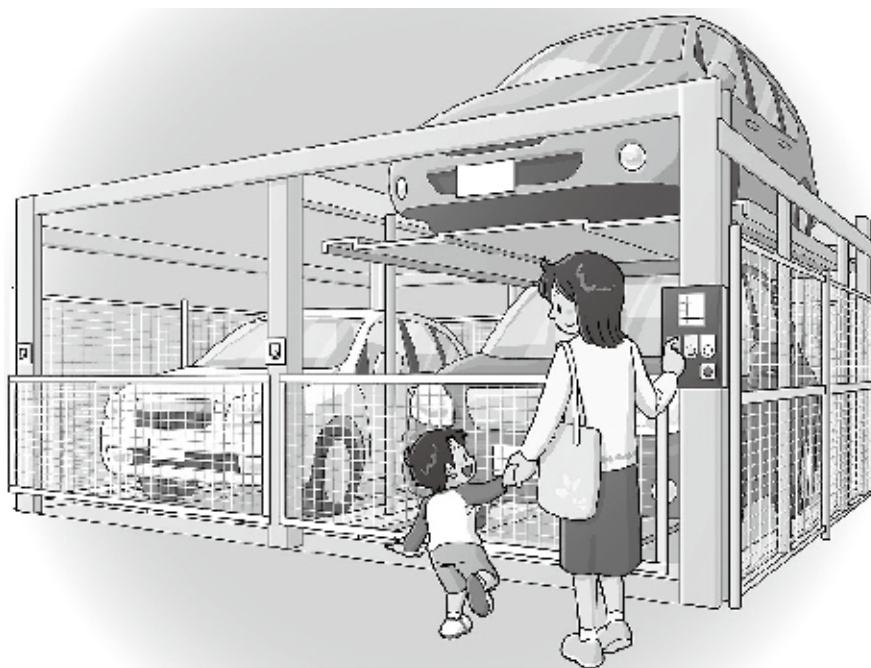
中四国営業所 082-546-2176

北海道営業所 011-213-7826

九州営業所 092-273-0880

東北営業所 022-216-4615

**公益社団法人 立体駐車場工業会は、平成27年1月から
施行されました新大臣認定制度の登録認証機関です。**



公益社団法人 立体駐車場工業会とは一

平成27年1月1日施行の駐車場法施行規則の認証機関として登録されました。

大臣認定制度に規定された「安全機能に関する基準」をクリアする当工業会が定めた「機械式駐車装置の安全機能に関する認証基準」に基づき、審査・認証を厳格に実施してまいります。

その他、従来審査・認定をしていた車いす使用者対応等の認定も行います。

「安全で便利で信頼性の高い駐車場の提供」これが当工業会の願いです。

人にやさしい機械式立体駐車場の普及に努めています。



公益社団法人 **立体駐車場工業会**

Japan Parking System Manufacturers Association Incorporated

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目9番9号 SHビル6階

TEL. (03) 5542-0733 FAX. (03) 5542-0735

ホームページ <https://www.ritchu.or.jp/>

あらゆる駐車場に対応した総合メンテナンス会社

日本全国 24時間365日 大小問わず 合理的な料金でOK!!

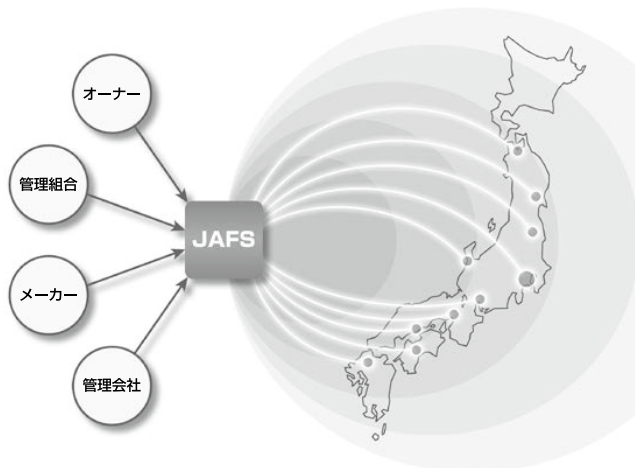
日本駐車場救急サービス株式会社

■会社概要

当社は、平成5年12月、駐車場関係諸官庁、団体、メーカー等のご要請により、業界の健全な発展のため、自動車業界のJAFを模して、駐車装置の保守サービス専門会社として設立されました。当社は日本全域24時間体制のもと、合理的な料金で対応できるネットワークで構築されております。
業務の内容は、定期メンテナンス（点検、調整、給油）24H故障対応、補修工事などを行います。

JAFSのアフターサービスシステムは、単なるメンテナンス工事の下請けではありません。
アフターサービス、メンテナンスのデータを収集・分析して、的確にフィードバックし、機器の改善、開発、更にはリブレースにも貢献します。
貴社のアフターサービス活動そのものをお引き受けるアウトソーシングシステムです。

社 名	日本駐車場救急サービス株式会社
代 表 者	代表取締役 森井 清
設 立	1993年(平成5年)12月
資 本 金	2,000万円
社 員 数	40名
事 業 内 容	1.駐車場、駐輪場設備の保守管理及び緊急出動 2.駐車場、駐輪場の遠隔監視及び警備 3.駐車場、駐輪場の建設及び修繕工事 4.駐車場、駐輪場の運営管理
機械器具設置工事業	東京都知事許可 第104599号
警備業認定	東京都公安委員会 第2380号
支 店	大阪 大宮 金沢 福岡 名古屋



定期メンテナンス



点検、調整、給油

補修工事



定期点検で
発見された不具合を
迅速に補修、修理

緊急出動



24時間体制で
スタッフが徹底監視！
お客様のご要望に合った
合サービスステーションへ

全国実績及びサービスステーションネットワーク (2011.1.1 現在)

全国実績

東北地区	10件	250 バレット
関東地区	2,300件	58,000 バレット
中部地区	200件	6,000 バレット
関西地区	300件	10,000 バレット

中国・四国地区	150件	3,500 バレット
九州地区	100件	2,500 バレット

合計 約3,060件 約80,250 バレット

一般社団法人東京駐車協会賛助会員

【お問い合わせ】 日本駐車場救急サービス株式会社

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町9-9 TEL.03-3663-1755 FAX.03-3663-1750 URL.<https://www.jafs99.co.jp/>



日本信号は、「安全と信頼」のテクノロジーをもとに、
より快適な交通社会の実現を

これからも目指し続けます。



日本信号株式会社
NIPPON SIGNAL

www.signal.co.jp/

■AFC事業部 AFC営業部
〒100-6513 東京都千代田区丸の内1-5-1 (新丸の内ビルディング13階)
PHONE:(03)3217-7373 FAX:(03)3217-7377

■大阪支社 交通システム営業部
〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4(大阪富国生命ビル 8階)
PHONE:(06)6312-3856 FAX:(06)6312-8597

■北海道支店 ■東北支店 ■中部支店 ■九州支店

◆ PARKING NOW ◆

■ 国土交通省「令和7年度版(2025年)自動車駐車場年報」 について

全日本駐車協会事務局

国土交通省より、「令和7年度版(2025年)自動車駐車場年報」が発表されましたので、一部を抜粋して、お知らせします。なお、詳細については下記URLをご覧ください。

https://www.mlit.go.jp/toshi/toshi_gairo_fr_000147.html

◇ 調査方法 ◇

令和7年9月に国土交通省都市局街路交通施設課が地方整備局等を通じて都道府県及び政令指定都市の駐車場担当部局に関係資料の収集を依頼し、市区町村の協力を得て、令和7年3月末現在でのデータを集計・整理したものである。

◇ 調査対象 ◇

駐車場の分類は、駐車場法における駐車場の定義によっている。集計の対象とした駐車場は、都市計画駐車場、届出駐車場、附置義務駐車施設及び路上駐車場であり、特段の断りがない限り、それ以外の駐車施設(例えば、月極駐車場、住宅の車庫、無料の路外駐車場及び小規模な路外駐車場等)は含まれていない。

(1)路外駐車場

道路の路面外に設置される自動車の駐車のための施設であって、一般公共の用に供されるものをいう。

①都市計画駐車場

都市計画に定められた駐車場をいう。円滑な都市活動を支え、都市生活者の利便性の向上、良好な都市環境を確保するうえで必要な施設として定められる。

令和7年3月末現在、415箇所、約106千台分が整備されている。

②届出駐車場

都市計画区域内において、自動車の駐車のために供する部分の面積が500㎡以上の路外駐車場でその利用について駐車料金を徴収するものを設置する者は、国土交通省令で定めるところにより、路外駐車場の位置、規模その他の必要事項を都道府県知事等に届け出なければならない。この届出をされた路外駐車場を届出駐車場という。

令和7年3月末現在、約10千箇所、約1,999千台分が整備されている。

(2) 附置義務駐車施設

地方公共団体は、駐車場整備地区内等において、延べ面積が一定規模以上の建築物を新築・増築する者に対し、その建築物又はその建築物の敷地内に自動車の駐車のための施設を設けなければならない旨を条例で定めることができる。

この条例に基づき附置される駐車施設を附置義務駐車施設という。

令和7年3月末現在、約82千箇所、約3,583千台分が整備されている。

(3) 路上駐車場

駐車場整備地区内の道路の路面に一定の区画を限って設置される自動車の駐車のための施設であって、一般公共の用に供されるものをいう。路上駐車場は、当該地区内にある路外駐車場によっては満たされない自動車の駐車需要に応じるため、必要な路外駐車場の整備がなされるまでの間の暫定措置として、道路の路面を使用する形で設置されるものである。従って、当該地区において都市計画において定められた路外駐車場が整備されるに応じて、逐次路上駐車場は廃止するものである。

令和7年3月末現在、14箇所、533台分が整備されている。

(参考)

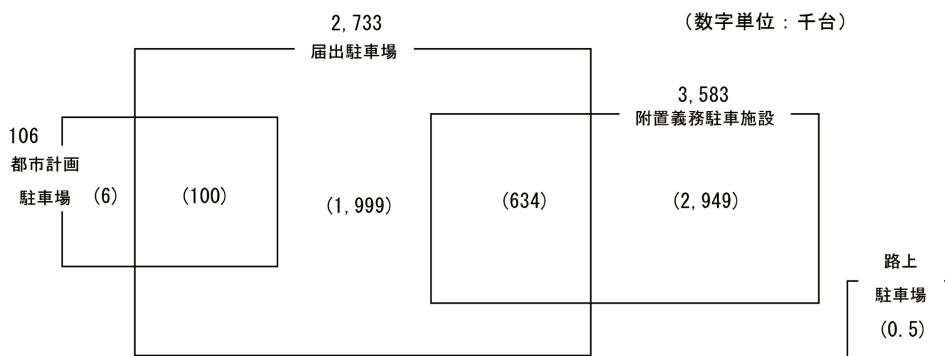
○ 駐車場整備状況（全国）

	令和6年度末(A)	平成26年度末(B)	A/B
都市計画駐車場	105,639 台	119,943 台	0.88
届出駐車場	1,998,531 台	1,699,455 台	1.18
附置義務駐車施設	3,583,037 台	3,068,737 台	1.17
路上駐車場	533 台	606 台	0.88
計	5,687,740 台	4,888,741 台	1.16
自動車保有台数	78,619,088 台	77,080,842 台	1.02
自動車1万台当たり駐車台数	723.5 台	631.9 台	1.14

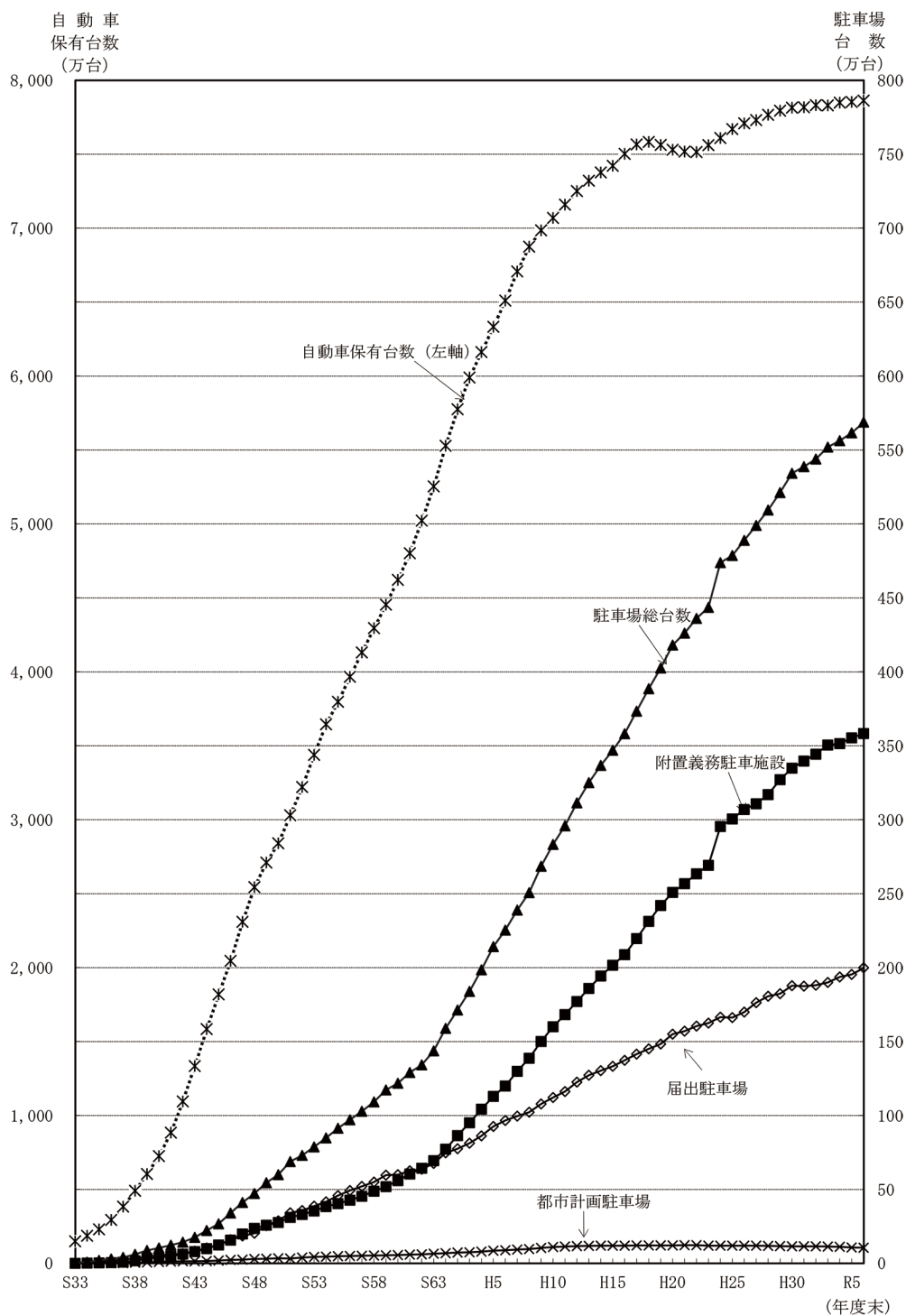
※都市計画駐車場と届出駐車場の両方に該当する駐車場は都市計画駐車場として区分している。

※附置義務駐車施設と届出駐車場の両方に該当する駐車場は附置義務駐車施設として区分している。

○ 駐車場法に基づく駐車場等の現況（令和6年度末）



自動車保有台数と駐車場供用台数の推移



「PARKING NOW」掲載情報提供のお願い

事務局では皆様から「PARKING NOW」に掲載する情報の提供を募集しています。

以下の様な駐車場に係る情報がございましたら、是非ご連絡をお願いします。

- ・新規開場した駐車場や既存駐車場リニューアル事例等会員に参考になる情報
 - ・駐車場に関連する各種トピックス
 - ・駐車場を取り巻く自治体の動き
- など

《連絡先》

一般社団法人全日本駐車協会 ☎ 03-3528-8305

e-mail: info@japan-pa.com

PARKING IN TOKYO

一般社団法人東京駐車協会

一般社団法人東京駐車協会 第59回定期総会議事録

1. 日 時 令和8年5月13日(水)

16時～16時59分

2. 場 所 東京都千代田区丸の内1-4-6

日本工業倶楽部会館2階

「大会堂」

3. 総会員数

正会員 91名

4. 出席会員数

出席会員数 71名

内委任状提出会員数 43名

5. 議事の経過および内容

報告事項 令和7年度事業報告

第1号議案 令和7年度計算書類承認の件

第2号議案 令和8年度事業計画承認の件

第3号議案 令和8年度収支予算承認の件

第4号議案 役員選任の件

6. その他

(1)令和7年度主な事業活動

①総会・理事会及び委員会の活動

会 議 の 名 称	開催回数		
	実開催	書面開催	計
第58回定期総会	1	0	1
定 例 理 事 会	4	1	5
総 務 委 員 会	2	0	2
企 画 委 員 会	4	0	4
組 織 委 員 会	0	1	1
調査研究委員会	3	1	4
広 報 委 員 会	4	0	4
標識管理委員会	0	1	1
合 計	18	4	22

※委員会は原則として対面とオンラインを併用したハイブリッド開催

②教育研修活動等

全日本駐車協会の中核団体として、同協会開催の教育研修活動の実施に協力するとともに、会員の参加を促した。個々の活動内容は、全日本駐車協会通常総会報告(本誌掲載)を参照。

③その他の活動

i)路外駐車場案内標識活動

設置本数は、期首359本に対し、新設2本、撤去11本で前年比-9本、期末では350本となった。

(2)令和8年度事業計画(骨子)

駐車場事業を取り巻く環境の変化や駐車場に求められる役割がかわりつつある社会情勢を踏まえ、価値ある情報を収集し、会員及び駐車場関係者に広く発信していくこと、会員相互の情報交換・意見交換及び相互啓発を活発に行う。これらの取り組みが、業界の発展・成長に必ず寄与すると考え、本年度は活動基本方針として下記6つを重点に置き、協会活動を実施していく。

①会員相互の情報交換・意見交換及び相互啓発の促進

②価値ある情報の収集と幅広い発信

③新規会員の入会促進

④協会独自事業の推進(駐車場案内標識事業)

⑤全日本駐車協会独自事業に対する協力支援(団体パーキング保険・全日駐規格「汎用(共通)駐車サービス券」)と各地駐

車協会との連携強化

- ⑥東京都他関係官庁の各種施策への協力及び積極的な意見具申

以上

一般社団法人東京駐車協会 役員名簿

令和8年5月13日現在

役 職 名	氏 名	会 社 名 等
会 長	木 村 恵 司	三菱地所株式会社
副 会 長	竹 歳 誠	三菱地所株式会社
〃	湯 川 雅 史	公益財団法人東京都道路整備保全公社
常任理事	加 藤 久 喜	有限会社スカイ・ガレージ嶋屋
〃	江 戸 耕 介	首都高速道路株式会社
〃	増 岡 真 一	株式会社鉄鋼ビルディング
〃	三 野 武 彦	東京ガレージ株式会社
〃	上 條 恵二郎	ダイビル株式会社
〃	渡 邊 覚	株式会社銀座パーキングセンター
理 事	後 藤 英 夫	株式会社藤久
〃	河 村 恭 臣	株式会社虎ノ門実業会館
〃	渡 辺 英 一	タイムズ24株式会社
〃	有 森 鉄 治	株式会社東京流通センター
〃	大平落 忠	三菱地所プロパティマネジメント株式会社
〃	萩 野 寿 人	丸ノ内ガラージ株式会社
〃	柴 田 明 雄	カホウ産業株式会社
〃	広 畑 義 久	新宿サブナード株式会社
〃	村 田 仁 史	株式会社東京交通会館
〃	吉 田 恭 彦	三菱地所パークス株式会社
〃	小清水 琢治	日本ガレージサービス株式会社
〃	松 村 秀 行	株式会社府中駐車場管理公社
〃	後 藤 要 二	三井不動産株式会社
〃	玉 井 克 彦	日本パーキング株式会社
〃	村 田 修	株式会社サンシャインシティ
専務理事	荒 井 昭 雄	一般社団法人全日本駐車協会兼務
常務理事	佐 藤 恒 仁	一般社団法人全日本駐車協会兼務
監 事	大 家 正 光	東英興産株式会社
〃	近 藤 慶 太	株式会社東京国際フォーラム

江戸常任理事は6月25日付で辞任されております。

■ 諸会議等報告

○理事会が下記の通り開催されました。

「第2回定例理事会」

開催日：令和8年5月13日（水）

場 所：日本工業倶楽部会館 3階「中ホール」

議 題：決議事項

1. 役員候補者の選任について
2. 第59回定期総会議決権委任状の受任者の選任について

報告事項

1. 会員異動について
2. 第59回定期総会関係について
3. (一社)全日本駐車協会関係事項について
4. その他

「書面決議理事会」

開催日：令和8年5月13日（水）

議 題：決議事項

1. 常任理事及び常務理事(業務執行理事)選定の件

○令和8年度第3回定例理事会のご案内

□日 時 令和8年11月24日（火） 16時00分～（予定）

□場 所 日本工業倶楽部会館4階「第4会議室」(予定)

○その他の会議等が下記の通り開催されました。

＜東京都生活文化局＞

- ・令和8年飲酒運転させないT O K Y Oキャンペーン推進委員会幹事会
令和8年6月2日（水） オンライン会議

＜公益財団法人東京都道路整備保全公社＞

- ・令和8年度定時評議員会
令和8年6月25日（木） 東京都道路整備保全公社

■ 人事

[役員人事]

○辞任 [令和8年5月13日付]

常任理事 松澤 壮一

常任理事 久保田 浩二

理事	中原 修
理事	谷島 秀和
理事	山田 裕三
理事	中村 修和

○辞任 [令和8年6月25日付]

常任理事	江戸 耕介
------	-------

— 事務局だより —

■ 令和8年春の叙勲 富山修一副会長が旭日双光章を受章

令和8年4月29日内閣府発表の春の叙勲において、当協会の富山修一副会長が、駐車場事業振興の功勞により、旭日双光章を受章されました。

■ 理事会報告

「令和8年度第2回理事会」

開催日：令和8年6月10日(水)

場 所：日本工業倶楽部会館3階「中ホール」

議 題：

(決議事項)

1. 役員候補者の選任について
2. 第65回通常総会議決権委任状の受任者(代理人)の選任について

(報告事項)

1. 会員異動について
2. 第65回通常総会関係について
3. 代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告
4. その他

「書面決議理事会」

開催日：令和8年6月10日(水)

決議事項：

1. 会長(代表理事)及び副会長(代表理事)選定の件
2. 常任理事及び専務理事(業務執行理事)並びに常務理事(業務執行理事)選定の件

■ 令和8年度第3回理事会のご案内

開催日：令和9年1月22日(金) 15時30分～(予定)

場 所：日本工業倶楽部会館 5階「第6会議室」(予定)

■ 令和8年度事務局長会議のご案内

☐ 日 時 令和8年11月6日(金) 13時～19時(予定)

☐ 場 所 日本工業倶楽部会館 4階「第4会議室」ほか(予定)

■ 令和8年秋季駐車場研修会(海外)のご案内

☐日 時 令和8年11月10日(火)～11月14日(土)

☐場 所 台湾

■ 委員会報告

○委員会が下記の通り開催されました

「企画委員会」

開催日：令和8年7月2日(木)

場 所：全日本駐車協会会議室+オンライン

今年度企画委員会検討事項について
令和8年第65回通常総会後の講演会、
見学会実施報告と振り返りについて
令和8年秋季駐車場研修会(海外)に
ついて

70周年記念行事企画について

新春駐車場研修会について

「広報委員会」

開催日：令和8年7月3日(金)

場 所：全日本駐車協会会議室

今年度広報委員会検討事項について
HPリニューアル運用開始について
PARKING第254号振り返りにつ
いて

PARKING第255号目次案について
PARKING第256号以降目次案につ
いて

会員宛てメールの発信状況について

■ 諸会議等報告

<国土交通省都市局>

- ・令和8年度全国都市計画主管課長会議
令和8年4月13日(月) オンライン会議
- ・令和8年度全国街路交通主管課長会議
令和8年4月16日(木) オンライン会議

<国土交通省関東運輸局>

- ・第8回移動等円滑化評価会議関東分科会
令和8年6月22日(月) オンライン会議

■ 会員動静

[入会]

(地区会員)

○会員名 有限会社西川塗装店(千葉駐車場
協会)

代表者 西川 昇

所在地 千葉県千葉市若葉区愛生町26-3

入会日 令和8年7月1日

(賛助会員②)

○会員名 株式会社Smooth(東京駐車協会)

代表者 泉 房之介

所在地 東京都世田谷区北沢2-13-13

葉山ハイツ303号室

入会日 令和8年6月30日

[退会]

(地区会員)

○会員名 株式会社ジャストパーキング(埼
玉駐車協会)

代表者 造酒 清江

所在地 埼玉県さいたま市大宮区桜木町
4-301-2

退会日 令和8年6月1日

(賛助会員②)

○会員名 株式会社サン道路サービス(仙台
駐車協会)

代表者 佐藤 理

所在地 宮城県仙台市宮城野区岩切分台
1-8-14

退会日 令和8年5月31日

○会員名 株式会社IHIパーキングスクエア
(名古屋駐車協会)

代表者 赤塚 真生

所在地 愛知県名古屋市中区東桜2-6-11

退会日 令和8年6月11日

■ 人事

[役員人事]

○辞任 [令和8年6月25日付]

常任理事 江戸 耕介

<全日本駐車協会 会員メールアドレス提供のお願い>

当協会から会員の皆様宛の情報発信手段は、年4回の機関誌PARKING・ホームページ及び郵送に加えて、タイムリーかつ確実に伝える連絡手段としてメールを活用しています。

メールアドレス未登録の会員の方は、ご担当者及びメール配信希望者のメールアドレス等をご提供いただきたくお願い申し上げます。記入票等につきましては下記担当者までお問合せ下さい。

一般社団法人全日本駐車協会事務局

e-mail:member@japan-pa.com 電話:03-3528-8305 FAX:03-3528-8306

担当:山ノ井、船津

<表紙題材募集のご案内>

事務局では、機関誌「PARKING」に掲載する表紙題材の提供を募集しています。以下の様な駐車場に係る情報がございましたら、是非ご連絡をお願いします。

- ・新規開場した駐車場や既存駐車場リニューアル事例等
- ・駐車場に関連する新築ビル、商業施設等

《連絡先》

一般社団法人全日本駐車協会 ☎ 03-3528-8305 e-mail:info@japan-pa.com

PARKING

2026 年 第 255 号

<非 売 品>

2026 年7月31日発行

編集兼発行人 一般社団法人全日本駐車協会

一般社団法人東京駐車協会

東京都千代田区内幸町2-2-3

日比谷国際ビル地下1階

TEL 03(3528)8305

FAX 03(3528)8306

—— 暑中お見舞い申し上げます ——

一般社団法人全日本駐車協会

会 長 木 村 恵 司
 副 会 長 竹 歳 誠
 “ 富 山 修 一
 常任理事 齋 野 五兵衛
 “ 城 阪 勝 喜
 “ 菅 原 甚 一
 “ 須 藤 憲 一
 “ 三 野 武 彦
 “ 永 井 京 子
 “ 湯 川 雅 史
 “ 戸 嶋 和 夫
 “ 祖父江 茂 樹
 専務理事 荒 井 昭 雄
 常務理事 佐 藤 恒 仁

事務局 東京都千代田区内幸町 2 - 2 - 3
 日比谷国際ビル地下 1 階
 電 話 03(3528)8305
 F A X 03(3528)8306

一般社団法人東京駐車協会

会 長 木 村 恵 司
 副 会 長 竹 歳 誠
 “ 湯 川 雅 史
 常任理事 加 藤 久 喜
 “ 増 岡 真 一
 “ 三 野 武 彦
 “ 上 條 恵二郎
 “ 渡 邊 覚
 専務理事 荒 井 昭 雄
 常務理事 佐 藤 恒 仁

事務局 東京都千代田区内幸町 2 - 2 - 3
 日比谷国際ビル地下 1 階
 電 話 03(3528)8305
 F A X 03(3528)8306

一般社団法人大阪駐車協会

会 長 城 阪 勝 喜
 副 会 長 牛 場 浩 哉
 “ 小 川 潔

〒552-0004
 大阪市港区夕風 2 - 17 - 13
 新日企業ビル 401
 電 話 06(6577)6788

札幌 駐 車 協 会

会 長 遠 藤 隆 三
 副 会 長 水 落 隆 志

事務局 札幌市中央区北 1 条西 2 丁目
 北海道経済センター 6 F
 電 話 011(232)5554

—— 暑中お見舞い申し上げます ——

山形駐車協会

会 長 齋 野 五兵衛

事務局 〒990-0042
山形市七日町1-1-1
山形まちづくり株式会社内
電 話 023(631)6368

仙台駐車協会

会 長 菅 原 甚 一
副 会 長 上 田 寛
〃 松 坂 卓 夫
〃 西 井 俊 正

事務局 〒980-0803
仙台市青葉区国分町二丁目11-8
MSCビル9階
TEL・FAX 022(266)1801

福島県駐車協会

会 長 三 浦 修 一

〒960-8022 福島県福島市新浜町 3 - 4
有限会社三浦商店内
TEL 024(534)2080
FAX 024(534)2091

新潟駐車協会

会 長 富 山 修 一
副 会 長 大 塚 善 紀
専務理事 山 崎 太

事務局 〒951-8066
新潟市中央区東堀南通 6 番町 1058 番地 1
新潟駐車場株式会社内
電 話 025(223)1164

高崎駐車場協会

会 長 大 田 部 功

事務局 〒370-0849
高崎市八島町 110 - 21
一般財団法人高崎市都市整備公社(内)
電 話 027(327)6719

埼玉駐車協会

会 長 中 村 茂
副 会 長 小 谷 野 堅 太 郎

事務局 埼玉県さいたま市大宮区
吉敷1丁目50番地
会 計 橋 本 直 子
電 話 048(641)2369 FAX 048(641)5376

千葉駐車場協会

会 長 須 藤 憲 一

事務局 〒260-0045
千葉県千葉市中央区弁天1-30-10
TEL 043(216)3211 FAX 043(287)6779
URL <http://www.chiba-pa.org/index.php>

横浜駐車場協会

会 長 永 井 京 子
副 会 長 吉 田 泰 治
〃 細 野 徳 重
〃 宮 代 宗 之

〒220-0011 横浜市西区高島2-12-6
ヨコハマジャスト1号館3F
横浜新都市センター株式会社内
TEL 045(453)2614 FAX 045(453)2617

—— 暑中お見舞い申し上げます ——

静岡県駐車協会

会 長 稲 葉 一 匡

事務局 静岡市葵区紺屋町 17 番地の 2

稲森パーキング本社内

電 話 054(254)5448

名古屋駐車協会

会 長 祖父江 茂 樹

事務局 〒461-0005

名古屋市東区東桜一丁目13番2号

愛知芸術文化センター地下

株式会社東海放送会館

アートパーク東海駐車場内

TEL 052(972)0805

FAX 052(972)0823

岡山駐車協会

会 長 藤 井 一 也

副会長 田 中 礼一郎

岡山市中区西川原一丁目1-9

(有)エフ・プラン内

TEL 086(272)5334

FAX 086(272)4506

福岡駐車協会

会 長 戸 嶋 和 夫

福岡市中央区渡辺通五丁目14番12号

南天神ビル10階 中央地所株式会社内

電 話 092(751)1711



—— 暑中お見舞い申し上げます ——

株式会社 エステイ・トーニチ 代表取締役社長 永 澤 剛 東京都江東区越中島2-1-30 STビル2F 電 話 03(3820)0545	新宿駅西口駐車場 株式会社 小田急ビルサービス 代表取締役社長 菅 澤 一 郎 〒160-0023 東京都新宿区西新宿1丁目西口地下街1号 電 話 03(3342)8117 FAX 03(3342)1477
柴田ビル駐車場 カホウ産業株式会社 代表取締役 柴 田 眞理子 東京都千代田区内神田2-6-4 電 話 03(3256)1031 FAX 03(3256)1037	神田駐車業組合 理 事 長 柴 田 明 雄 事務局 東京都千代田区内神田1-14-6 (有)福利久内 電 話 03(3293)7466 FAX 03(3293)7469
株式会社 銀座パーキングセンター 西 銀 座 駐 車 場 (銀座・外堀通り地下に平置700台) 代表取締役 渡 邊 覚 東京都中央区銀座7-2-6 電 話 03(3572)5201(代) http://www.nishiginzaparking.co.jp	株式会社 サ ン ケ イ ビ ル 代表取締役 社 長 飯 島 一 暢 東京都千代田区大手町1-7-2 電 話 03(5542)1300
株式会社サンシャインシティ 代表取締役社長 脇 英 美 東京都豊島区東池袋三丁目1番 TEL 03-3989-3321(代表)	首都高速道路サービス株式会社 代表取締役社長 江 戸 耕 介 〒103-0027 東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング2階 営業第一部 駐車場営業課 TEL 03-6262-3914 FAX 03-6262-7124

—— 暑中お見舞い申し上げます ——

「優良駐車場認定」 新宿サブナード駐車場 (地下駐車場400台／二輪車駐車可能) 新宿サブナード株式会社 代表取締役社長 広畑義久 東京都新宿区歌舞伎町1-2-2 電話 03(3354)6111 https://www.subnade.co.jp	神田西口駐車場 有限会社 スカイ・ガレージ嶋屋 代表取締役 加藤久喜 東京都千代田区内神田3-3-12 電話 03(3254)4082 FAX 03(3293)7469
株式会社 スズカズ 鈴和 代表取締役 後藤義明 東京都豊島区南池袋2-16-8 電話 03(3590)1009	 ダイビル株式会社 代表取締役 社長執行役員 鋤田 博文 大阪 大阪市北区中之島3丁目6番32号 〒530-0005 電話 (06) 6441-1932 東京 東京都千代田区内幸町1丁目2番2号 〒100-0011 電話 (03) 3506-7441 URL : https://www.daibiru.co.jp
株式会社 鉄鋼ビルディング 代表取締役社長 増岡真一 東京都千代田区丸の内1丁目8番2号 電話 03(6630)2800(代)	東英興産株式会社 (第一東英パーキング) 代表取締役社長 大家正光 〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町7-4 東英美土代ビル4階 電話 03-3292-1041 FAX 03-3292-0370 https://www.toei-kosan.com/
株式会社 トウ 藤 キュウ 久 TOKYU PARKING／BUILDING 代表取締役 後藤英夫 本社 〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-25-5 藤久ビル東五号館14階 電話 03(3971)6243	東京ガレージ株式会社 代表取締役会長 三野 武彦 代表取締役社長 小清水 琢治 取締役 安孫子 和典 取締役 伊藤 高久 取締役 松澤 俊昭 監査役 恵良 理至 監査役 佐々木 徹磨 相談役 小清水 琢 東京都千代田区永田町2-14-2 山王グランドビル4階 電話 03(3504)0610(代) FAX 03(3504)0626 URL http://www.tokyo-garage.co.jp/

—— 暑中お見舞い申し上げます ——

株式会社東京交通会館 東京交通会館パーキング(地下2.3階) 取締役社長 細 包 憲 志 東京都千代田区有楽町2-10-1	株式会社東京流通センター 代表取締役社長 有 森 鉄 治 〒143-0006 東京都大田区平和島6-1-1センタービル 電 話 03(3767)2111(代表) F A X 03(3767)2053 H P https://www.trc-inc.co.jp/
株式会社虎ノ門実業会館 代表取締役社長 河 村 恭 臣 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-20 電 話 03(3591)5371	株式会社ナリマック 代表取締役 名古屋 勝 彦 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-13-7 名古屋ビル9階 電話03(3291)0464
日本ガレーヂサービス株式会社 代表取締役会長 三 野 武 彦 代表取締役社長 小清水 琢 治 常 務 取 締 役 伊 藤 健 太 郎 監 査 役 佐々木 徹 相 談 役 小清水 琢 磨 東京都千代田区永田町2-14-2山王グランドビル4階 電 話 03(3504)0610(代) F A X 03(3504)0626 U R L http://www.tokyo-garage.co.jp/	丸ノ内ガラーヂ株式会社 (新東京ビル駐車場) 取締役会長 松 田 三四朗 取締役社長 荻 野 寿 人 http://www.chushajo.co.jp 東京都千代田区丸の内3-3-1 電 話 03(3212)4721(代) F A X 03(3212)4725
三井不動産株式会社 代表取締役社長 植 田 俊 東京都中央区日本橋室町2-1-1	三菱地所株式会社 執行役社長 中 島 篤 東京都千代田区大手町1-1-1 大手町パークビル

—— 暑中お見舞い申し上げます ——

三菱地所パークス株式会社

代表取締役社長 吉 田 恭 彦

〒107-0062
東京都港区南青山1-1-1
新青山ビル東館16階
TEL 03-5413-4351

三菱地所プロパティマネジメント株式会社

取締役社長 久 保 人 司

〒100-0005
千代田区丸の内2-2-3
丸の内仲通りビル2階
TEL 03-3287-4111

**八 重 洲 地 下 街 株式
ヤ エ チ カ パ ー キ ン グ 会社**

代表取締役社長 尾 形 宏 伸

ホームページ
<http://parking.yaechika.com/>

東京都中央区八重洲2-1
八重洲地下街中1号
電 話 03(3271)4111



柳屋ビル屋上駐車場

柳屋ビルディング株式会社

代表取締役 外 池 洋 隆

東京都中央区日本橋2-1-10
電 話 03(3272)1441(代)

松栄ホールディングス株式会社



代表取締役会長 城 阪 勝 喜

〒552-0011
大阪市港区南市岡2丁目10番17号
TEL 06-6582-0101(代)
FAX 06-6582-0104
<http://www.shoei-group.com/>

望 月 ビ ル 株 式 会 社

代表取締役 望 月 敬 夫

大阪府豊中市庄内東町2-2-2
電 話 06(6331)0115

遠藤興産株式会社

取締役社長 遠 藤 隆 三

〒060-0062
北海道札幌市中央区南二条西
四丁目4-3 狸上るビル5階
TEL 011-221-0456(代表)

松栄東口第一・第三駐車場
名掛丁駐車場
松栄東口第六・第八駐車場



松 栄 不 動 産 株 式 会 社
松 坂 商 事 株 式 会 社

仙台市宮城野区榴岡一丁目2-8
電 話 022(295)5080(代)

代表取締役 松 坂 卓 夫

—— 暑中お見舞い申し上げます ——

タイショーパーキング(東二番町角) 取締役社長 西 井 俊 正 事務所 仙台市青葉区一番町2丁目2-5 電 話 022(223)2654 ダイコクパーキング(仙台駅東口) 取締役社長 西 井 俊 正 電 話 022(225)0580	三 浦 ビ ル 商 事 (株) (有) 三 浦 商 店 みうらガレージ 代表取締役 三 浦 修 一 福島市新浜町3-4 電 話 024(534)2080
新潟駐車場株式会社 代表取締役社長 富 山 修 一 〒951-8066 新潟市中央区東堀前通六番町 1058 番地 1 電 話 025(223)1164	株式会社 マサキ管理サービス 代表取締役 中村 茂 埼玉県川口市並木2丁目13番8号 電 話 048(252)8101 F A X 048(252)0740 HP : http://www.masakikanri.co.jp
株 式 会 社 須 藤 ビ ル 千葉ゴールドデンパーキング 代表取締役 須 藤 憲 一 千葉市中央区弁天1-30-10 電 話 043-254-5422 FAX 043-287-6779 URL https://www.sudo-biru.co.jp Eメールアドレス info@sudo-biru.co.jp	静岡委託商事有限会社 稲 森 パ ー キ ン グ 取締役社長 稲 葉 一 匡 静岡市葵区紺屋町 17 番地の 2 電 話 054(254)5448 https://www.inamori-parking.com
株 式 会 社 エ ス カ エ ス カ 駐 車 場 代表取締役社長 依 田 耕 治 〒453-0801 名古屋市中区村田太閤三丁目1番18号 LUCID SQUARE NAGOYA 12 階 電 話 本 社 052(452)1181(代) 駐車場 052(452)1185	株式会社 エンゼルパーク 代表取締役社長 塩 谷 剛 史 名古屋市中区栄三丁目 16 番 10 号先 電 話 052(261)5746(代表) エンゼルパーク駐車場 矢 場 公 園 駐 車 場

—— 暑中お見舞い申し上げます ——

株式会社セントラルパーク
セントラルパーク駐車場

代表取締役社長 伊藤 貴宣

〒461-0001
名古屋市東区泉一丁目23番36号
NBN泉ビル5階
電話 本社 052(961)6111(代)
駐車場 052(951)0051

株式会社東海放送会館

アートパーク東海(駐車場)

代表取締役社長 祖父江 茂樹

名古屋市東区東桜一丁目14番27号
電話 052(972)0805

株式会社ユニモール
ユニモール駐車場

代表取締役社長 古橋 明

〒450-0002
名古屋市中村区名駅四丁目5番26号
電話 052(586)2511(代)

株式会社イーエスプランニング



代表取締役 藤岡 義己

〒650-0044
神戸市中央区東川崎町1-3-3
神戸ハーバーランドセンタービル9階
TEL 078-362-2512 FAX 078-362-2515

綾杉不動産株式会社

綾杉立体駐車場

代表取締役 中尾 卯作

〒810-0001
福岡市中央区天神1丁目15番22号
電話 092(751)1310

紙与産業株式会社

代表取締役社長 渡邊 與之
〒810-0001

福岡市中央区天神1丁目12-14
紙与渡辺ビル10F
電話 092(721)4531

紙与パーキング大名
紙与パーキング店屋町
紙与パーキング駅三

九州勸業株式会社

代表取締役社長 太田 禎郎

電話 092(291)8291
FAX 092(281)7383

福岡市博多区店屋町8番24号

センターパーキング
ニューセンターパーキング
駅東パーキング
交通センター前パーキング

中央地所株式会社

取締役会長 戸嶋 弘一
取締役副会長 戸嶋 和夫
代表取締役社長 戸嶋 太一

南天神パーキング
グランドパーキング

福岡市中央区渡辺通5丁目14番12号
電話 本社 092(751)1711
パーキング 092(781)3713
<https://www.chuo-estate.co.jp>
E-mail:info@chuo-estate.co.jp

—— 暑中お見舞い申し上げます ——



お 礼

会員の皆様方に暑中お見舞いの名刺広告の協賛につきましてお願い申し上げたところ、多数の方々のご理解を賜りました。誌上をお借りし、厚く御礼申し上げますとともに、今後ともご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

一般社団法人全日本駐車協会

都内で駐車場を運営されている方へ 駐車場案内標識のご案内

一般社団法人東京駐車協会では、駐車場への案内をスムーズにし、「うろつき運転」を減らすことを目的として、都内で駐車場案内標識設置のお手伝いをしております。

公道への設置

- ・道路占用許可をはじめとする各種許可を得て、公道上(主に歩道)に駐車場案内標識を設置することができます。

申請は協会が

- ・必要な申請手続は東京駐車協会名で協会スタッフが行います。

設置工事は協会が

- ・規格に則り、施工会社、行政機関との調整を含めて当協会が設置工事を取り進めます。

会員料金

- ・東京駐車協会の会員であれば、諸費用や保証金に会員料金の適用があります。

助成金

- ・公益財団法人東京都道路整備保全公社による助成金制度を利用し、助成金の交付を受けることができます。
(交付には条件がありますので、当協会までお問い合わせください。)



反射式駐車場名入り



反射式駐車場名なし



内照式

駐車場案内標識は、東京駐車協会の会員以外の方でも設置することができ、現在約400本の標識が都内に設置されています。

是非お気軽に当協会までお問い合わせください。

【駐車場案内標識に関するお問い合わせ先】

一般社団法人東京駐車協会

担当者：坂口 sakaguchi@japan-pa.com

TEL：03-3528-8305